

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2020 年度総会次第
(2020 年 7 月 30 日 於：東京都豊島区)

1. 開会の辞
2. 議長の選出 (田上順次 理事長)
3. 議事録署名人指名の件 (林美加子 理事・横瀬敏志 理事)
4. 報告事項
 - 1) 会務報告
 - (1) 総務関係 P. 1~6
 - (2) 財務関係 P. 7~8
 - (3) 機関誌関係 P. 9
 - 2) 各種委員会報告
 - (1) 編集委員会 P. 10~12
 - (2) 医療合理化委員会 P. 13
 - (3) 教育問題委員会
 - (4) 学術委員会 P. 14~18
 - (5) 学会のあり方委員会 P. 19
 - (6) 学術用語委員会 P. 20
 - (7) 国際交流委員会 P. 21~22
 - (8) 認定委員会 P. 23~24
 - (9) 認定歯科衛生士審査委員会 P. 25~32
 - (9) 表彰委員会 P. 33~41
 - (10) 定款委員会
 - (11) 倫理委員会/COI委員会 P. 42
 - (12) 広報委員会 P. 43
 - (13) 選挙管理委員会 P. 44
 - 3) その他の報告
 - (1) 日本歯科医学会報告 P. 45~46
 - (2) 日本歯科医学会連合報告 P. 47
 - (3) 日本歯科専門医機構報告 P. 48
 - (4) 日本学術会議報告
 - (5) 日本歯学系学会協議会報告 P. 49~50
 - (6) 歯学系学会社会保険委員会連合会報告
 - (7) 第151回秋季学術大会報告 P. 51
 - (8) 次期大会準備状況報告・学術大会開催予定一覧 P. 52~53
5. 協議事項
 - 第1号議案 次期理事長承認の件 P. 54
 - 第2号議案 理事承認の件 P. 55~56
 - 第3号議案 名誉会員承認の件 P. 57
 - 第4号議案 2019年度事業報告の件 P. 58
 - 第5号議案 2019年度決算報告の件(監査報告) P. 59~76
 - 第6号議案 2020年度事業計画(案)の件 P. 77
 - 第7号議案 2020年度予算(案)の件 P. 78~83
6. 閉会の辞

総務関係報告

1. 会員数について(2020年3月31日現在)

・会員総数：4,517人

内訳	名誉会員	74人	}	認定医	497人
	正会員	4,365人		専門医	749人
	賛助会員	30社		指導医	280人
	準会員	40人			
	外国会員	5人			
	図書館	3			

・会員動向(2019年4月1日～2020年3月31日)

新入会員 215人(正会員210人、準会員4人、賛助会員1社)

退会会員 145人(正会員140人、準会員3人、名誉会員2人、
：4年未納133名含まず)

・会誌寄贈 64

2. 会費納入率(2020年3月31日現在：一般会員 4,405人)

完納者 3,633人 (2019年度納入率：82.5%)

未納者 772人

内訳	1年未納者(2019年)	360人
	2年未納者(2018年～2019年)	168人
	3年未納者(2017年～2019年)	111人
	4年未納者(2016年～2019年)	133人

3. 日本歯科医師会・日本歯科医学会・日本歯科医学会連合・日本歯科専門医機構 (2019年10月26日～2020年5月29日)

10月30日・日本歯科専門医機構より、2019年度第2回ワークショップ(11月21日開催)の案内が再度届き、松尾敬志前理事長に加え、北村知昭副理事長の2名で出席と回答した。合わせて、アンケート調査に回答した。

11月6日・日本歯科医学会より、日本歯科医学会ホームページの更新案内の事務連絡があった。

11月14日・日本歯科専門医機構より、9月に開催された第1回ワークショップ報告書が届き、第2回ワークショップ出席者に転送した。

11月15日・日本歯科医学会より、歯科用アマルガムに関する問い合わせがあり、田上順次理事長、阿南壽・北村知昭 両副理事長に報告した。

- 11月28日・日本歯科医学会連合より、令和元年度医療事故調査制度研修会（1月26日開催）の案内が届き、12月20日の常任理事会で出席者を検討することとした。
- ・日本歯科医学会より、第24回日本歯科医学会学術大会の公募セッション演題募集の案内が届き、12月20日の常任理事会で方針を検討することとした。
- 11月29日・日本歯科医学会英文雑誌編集委員会より、令和元年度JDSR Review Article 執筆者の推薦依頼があり、林美加子理事を推薦した。（日本歯科医学会連合平成30年度医療問題関連事業採択課題の論文）
- 12月 2日・日本歯科医学会より、系統的レビューワークショップ（診療ガイドライン作成に向けて）（3月28日開催）の案内が届き、林美加子う蝕治療ガイドライン作成小委員会委員長に報告した。
- ・日本歯科医学会より、日本歯科医学会ホームページの更新案内の事務連絡があった。
- 12月11日・日本歯科医学会より、日本歯科医学会誌第39巻掲載の「学会活動報告」の執筆依頼が届き、田上順次理事長より入稿した。
- 12月12日・日本歯科医学会より、日本歯科医学会HPへの学術大会抄録集の掲載依頼が届き、田上順次理事長・山本一世総務担当常任理事に報告のうえ、前年度の対応に準じ回答した。
- 12月25日・日本歯科医学会連合より案内のあった令和元年度医療事故調査制度研修会（1月26日開催）につき、12月20日の常任理事会で検討の結果、野田守常任理事会が出席することとなった。
- 1月 6日・日本歯科医学会より、日本歯科医学会ホームページの更新案内の事務連絡があった。
- 1月15日・日本歯科医学会より、コンプライアンスに関する調査依頼があり、倫理・COI委員会で検討のうえ回答した。
- 1月27日・日本歯科医学会より、都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会（令和2年度診療報酬改定に係る改定内容の説明会）（3月10日開催）の案内が届き、細矢哲康 社会保険対策小委員出席と回答した。
- ・日本歯科医学会より、分科会総会開催等の照会が届き事務局より回答した。
- 1月28日・日本歯科専門医機構より、2019年度臨時社員総会（2月19日開催）の案内が届き、田上順次理事長出席と回答した。
- ・日本歯科医学会連合より、令和元年度第2回臨時総会（2月20日開催）の案内が届き、松尾敬志前理事長出席と回答した。
 - ・日本歯科医学会より、令和元年度日本歯科医学会会長賞受賞者の選考結果に関する文書が届いた。
- 1月29日・日本歯科医学会より、令和2年度プロジェクト研究費公募用テーマの提案依頼が届き、全理事にメール配信した。
- 1月30日・日本歯科医学会より、系統的レビューワークショップ（診療ガイドライン

作成に向けて) (3月28日開催)につき30名の定員に達した旨のメールが届いた。

- 1月31日・日本歯科専門医機構より、専門医等制度のアンケート調査依頼があり、五十嵐勝 認定委員会委員長に確認のうえ回答した。
- 2月 3日・第24回日本歯科医学会学術大会準備委員会より、ポスターが届いた。
 - ・8020推進財団より、小冊子「知っておきたいお口のケアのお役立ち情報」が届いた。
- 2月 4日・日本歯科医学会より、日本歯科医学会ホームページの更新案内の事務連絡があった。
- 2月21日・日本歯科医学会より、都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会(令和2年度診療報酬改定に係る改定内容の説明会)(3月10日開催)の開催中止の連絡があった。3月18日に資料が届き、出席予定だった細矢哲康 社会保険対策小委員に転送した。
 - ・日本歯科医学会へ令和2年度プロジェクト研究費公募用テーマ1件を応募した。
- 3月11日・日本歯科医学会より、系統的レビューワークショップ(診療ガイドライン作成に向けて)(3月28日開催)の開催中止の連絡があった。
 - ・日本歯科専門医機構アンケートの確認依頼があり、回答した。
- 3月17日・日本歯科医学会連合より、国際活動委員会からの「国際的人材育成の現状」調査協力依頼があり、佐野英彦 国際交流委員長に確認のうえ回答した。
- 3月30日・第24回日本歯科医学会学術大会におけるセッション企画案2件を応募した。
- 3月31日・日本歯科専門医機構より、3月末開始予定の基本領域名称下におけるグループ連携協議につき、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、協議日程等は改めて案内される旨、連絡があった。
- 4月 6日・日本歯科医学会より、第36回歯科医師を中心とした総合的な研究を推進する集いの演題募集要網が届いた。
- 4月17日・日本歯科医学会より、令和2年度日本歯科医学会会長賞授賞者推薦が届き、常任理事会で検討することとした。
- 4月24日・日本歯科専門医機構より、役員候補者の推薦依頼があり、北村知昭副理事長を推薦した。
 - ・日本歯科医学会より、歯科診療行為のタイムスタディー調査2019年度版(中間調査)の学会HP公開についての連絡あり、瀧川智義 社会保険対策小委員長に報告した。
- 5月11日・日本歯科医学会連合より、令和2年度社員総会(5月22日開催)の案内があり、田上順次 理事長がWEB参加で出席する旨回答した。
- 5月18日・日本歯科医学会より、第103回臨時評議員会の運営について書面会議とする旨、連絡があった。
- 5月21日・令和元年度JDSR Review Article執筆者として推薦いた林美加子理事に執筆

依頼があり、林理事が投稿した。

5月22日・日本歯科医学会より、2020年FDI総会において審議予定のFDI政策声明案の検討依頼があり、全理事にメール配信した。

・日本歯科医学会より、「新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査のための鼻腔・咽頭拭い液の採取の歯科医師による実施について」に関する質疑応答集(Q&A)について情報提供があり、全理事にメール配信した。

・日本歯科医学会令和2年度プロジェクト研究費申請公募につき、学術委員会にて検討した2テーマの申請案につき、全理事に研究分担者としての参加希望を募るメールを配信した。

4. 日本学術会議・日本歯学系学会協議会・歯学系学会社会保険委員会連合・文部科学省・厚生労働省(2019年10月26日～2020年5月29日)

11月14日・日本学術会議・科学技術振興機構・日本学術協力財団より依頼のあった「令和元年度 日本学術会議協力学術研究団体の実態調査」に回答した。

11月29日・日本歯学系学会協議会より、第17回講演会「基礎と臨床の連携」(1月30日開催)の案内が届き、全理事にメール配信した。

12月11日・日本学術会議より、日本学術会議会員及び連携会員の候補者に関する情報提供の依頼が届き、田上順次理事長が対応することとした。

1月16日・日本歯学系学会協議会より、第17回講演会「基礎と臨床の連携」(1月30日開催)の再案内が届いた。

3月10日・日本歯学系学会協議会より、次期理事候補者推薦依頼があり、次期理事長候補者である石井信之理事を推薦した。

3月23日・歯学系学会社会保険委員会連合より、持ち回り総会にて2020年度からの会長および監事は留任となった旨の連絡があった。

(会長:外木守雄 先生、監事:今井 裕 先生・久光 久先生)

3月23日・日本歯学系学会協議会より、新型コロナウイルス拡大の影響による各学会学術大会の対応についてアンケートがあり回答した。

4月27日・歯学系学会社会保険委員会連合より、歯保連試案2019入力システム:項目入力最終確認依頼があり、瀧川智義 社会保険対策小委員長に報告した。

4月30日・日本歯学系学会協議会より、理事選挙投票用紙が届き、田上順次 理事長が対応した。

5月10日・歯学系学会社会保険委員会連合より、歯保連試案2019の校正依頼があり、瀧川智義 社会保険対策小委員長に報告した。

5月19日・歯学系学会社会保険委員会連合より、歯保連試案の修正依頼があり、瀧川智義 社会保険対策小委員長に報告した。

5月21日・日本歯学系学会協議会より、石井信之理事に次期理事への就任依頼があり承諾した。

5. 役員会・委員会等の開催(2020年11月11日～2020年5月29日)

- 12月20日 ・第3回常任理事会
- 12月25日～1月10日 ・理事会メール協議(常任理事の選任)
- 1月 7日 ・日本歯科衛生士会との面談
- 1月22日 ・認定委員会(事前審査)
- 1月24日 ・第3回編集委員会
- 2月 3日 ・第3回表彰委員会
- 2月 6日 ・第4回選挙管理委員会
- 2月14日 ・第4回常任理事会
- 4月14日～24日 ・常任理事会メール協議(第152回春季大会対応案の検討)
- 5月27日 ・2019年度会計監査会議(書面開催)
- 5月29日 ・第1回常任理事会(WEB開催)

6. その他(2019年10月26日～2020年5月29日)

- 11月15日・日本歯科技工学会より、第41回学術大会開催終了の礼状が届いた。
- 11月18日・日本歯科衛生士会及びデンタルダイヤモンド社から監修依頼のあった「デンタルダイヤモンド社共同開発eラーニングコンテンツ」につき、学術委員会での協議の結果、監修をお断りする文書をデンタルダイヤモンド社に送付した。
- 11月28日・損保ジャパン日本興亜株式会社より、本学会が団体契約している歯科医師賠償保険(うち所得保障保険)の募集文書記載内容に追加がある旨の文書が届き、田上順次理事長・山本一世総務担当常任理事に報告した。
- 11月29日・日本老年歯科医学会より、設立30周年記念式典・祝賀会(2020年6月20日開催)の案内が届き、北村知昭 副理事長出席にて回答した。
- 12月 3日・日本顎顔面補綴学会認定医制度委員会より、申請書類の改訂のため本学会の書類を参考にしたい旨の連絡があり、五十嵐勝認定委員長より、本学会HP上に掲載しているのでご覧頂くよう回答した。
- 12月 4日・新聞クイントの「年頭企画・歯科人新年の一言」の執筆依頼が届き、田上順次理事長より寄稿した。
- 12月 6日・日本接着歯学会の二階堂徹 学術委員会委員長より、日本接着歯学会作成の「レジンコーティングの診療指針」の確認依頼があり、う蝕治療ガイドライン作成小委員会で検討のうえ回答した。
- 12月24日・ACFF日本支部より、第2回記念講演会・懇親会(2月3日開催)への招待状が届き、松尾敬志前理事長が出席することとなった。
- 12月26日・日本接着歯学会より、日本接着歯学会作成の「レジンコーティングの診療指針」の確認協力への礼状が届いた。
- 1月 6日・日本小児歯科学会より、第58回学術大会のポスターが届いた。

- 1月 7日・元理事／評議員の國松和司先生ご逝去(12月28日)の訃報を受け、全理事に配信した。
- 1月30日・元理事の澁谷俊昭先生ご逝去(1月29日)の訃報を受け、全理事に配信した。
- 2月 4日・厚労省科研費「診療ガイドラインにおける医療経済的評価手法に関する研究」(研究代表者:国際医療福祉大学 池田俊也教授)が届き、林美加子う蝕治療ガイドライン作成小委員会委員長に報告した。
- ・日本歯科衛生士会より、認定歯科衛生士制度(認定分野B)登録承諾の回答があった。
 - ・日本成人矯正歯科学会より、第28回学術大会ならびに懇親会の案内が届いた。
 - ・第一生命保険株式会社より、第72回保健文化賞募集資料が届いた。
- 3月10日・名誉会員の谷 嘉明先生ご逝去(2月27日)の訃報を受け、全理事に配信した。
- 4月 2日・愛知学院大学歯学部より、歯学部長交代(後藤滋巳先生)の挨拶状が届いた。
- 4月 2日・明海大学歯学部より、歯学部長交代(申基喆先生)の挨拶状が届いた。
- 4月20日・日本老年歯科医学会より、北村知昭 副理事長予定だった設立30周年記念式典・祝賀会(2020年6月20日開催)中止の連絡があった。

日本歯科保存学会 2020年度月次決算書 (5月分)

(2020年4月1日～2020年5月31日)

項目	予 算	5月次決算	執行率	備 考
前年度繰越金	30,882,283	30,882,283	100.0%	
年度会費	39,416,800	1,957,000	5.0%	
(1)入会金	300,000	57,000	19.0%	1,000円×57名
(2)本年度会費	32,868,000	566,000	1.7%	
(3)過年度会費	4,098,800	1,314,000	32.1%	'15(27,000)、『16(18,000)、『17(99,000)、『18(234,000)、『19(936,000)
(4)次年度会費	300,000	20,000	6.7%	'21(20,000)、『22(0)
(5)賛助会費	1,850,000	0	0.0%	
論文掲載料	3,750,000	1,079,470	28.8%	63/1(1,079,470)、『63/2(0)、『63/3(0)、『63/4(0)、『63/5(0)、『63/6(0)、『64/1(0)
広告掲載料	2,800,000	0	0.0%	巻抄(0)、『63/2(0)、『63/3(0)、『63/4(0)、『63/5(0)、『63/6(0)、『64/1(0)
認定歯科衛生士関連費	100,000	0	0.0%	申請料(0)
日歯学会助成金	990,000	0	0.0%	2020年度日歯学会助成金(0)
雑収入	700,000	465,009	66.4%	銀行利息(354)、『積戻金(452,650)、『学術著作権協会権料(0)、『医学中央雑誌許諾抄録利用料(0)、『メテオ文献誌許諾使用料(12,005)、『用語集印刷(0)、『電子辞書印刷(0)、『ラベル代(0)
小計	47,756,800	3,501,479	7.3%	
合 計	78,638,883	34,383,762	43.7%	

項目	予 算	5月次決算	執行率	備 考
次年度春季学会費	2,600,000	0	0.0%	
次年度秋季学会費	2,500,000	0	0.0%	
会誌抄録集印刷費	3,260,000	0	0.0%	巻季(0)、『秋季(0)
誌行会誌印刷費	12,240,000	0	0.0%	63/2(0)、『63/3(0)、『63/4(0)、『63/5(0)、『63/6(0)、『64/1(0)
会誌発送費	1,075,000	0	0.0%	63/2(0)、『63/3(0)
通信連絡費	1,300,000	11,147	0.8%	会費請求(0)、『切手・はがき代(0)、『TEL・FAX料(1,725)、『宅配代(6,672)、『揮込料・手数料(2,750)
事務費	1,950,000	370,316	19.0%	封筒(330,000)、『資料印刷(40,316)、『事務用消耗品費(0)、『大会時資料(0)、『入金申込書・領収書(0)、『会員一斉作成費(0)
日歯学会分担金	150,000	0	0.0%	2020年度
日歯学会連合会費	1,364,700	0	0.0%	2020年度
日歯会幹事費	300,000	0	0.0%	2021年度(前納制)
認定衛生士関連費	1,100,000	0	0.0%	
各種委員会費	5,600,000	0	0.0%	常任理事会(0)、『大会時理事会・委員会費(0)、『編集委(0)、『表彰委(0)、『医務合理化委(0)、『社会保険対策委(0)、『ご縁治療ガイドライン委(0)
事務局出張費	80,000	0	0.0%	
学会事務局委託費	6,270,000	1,045,000	16.7%	522,500×2ヵ月
英文校閲費	507,000	121,440	24.0%	63/2(63,360)、『63/3(88,080)、『63/4(0)、『63/5(0)、『63/6(0)、『64/1(0)、『64/2(0)
国際交流費	1,100,000	0	0.0%	大韓歯科保存学会との交流費(0)、『台湾牙體修復学会との交流費(0)、『トルコ関連学会との交流費(0)
表彰費	1,000,000	0	0.0%	2020年度学会賞(0)、『学術賞(0)、『奨励賞(0)、『盾・賞状作成代(0)
ホームページ運営費	615,000	154,000	25.0%	ドメイン使用料(68,000)、『HP更新・管理費(86,000)
市民公開フォーラム開催費	300,000	0	0.0%	
関連団体経費	500,000	0	0.0%	会誌出張費(0)、『歯学協会年会費(0)、『歯保連年会費(0)
法人運営費	1,850,000	255,400	13.8%	租民税・事業税(92,700)、『国税(62,700)、『税理士顧問料(0)、『6ヶ月分(0)、『顧問弁護料(0)、『6ヶ月分(0)、『法人学会事務費(110,000)、『決算報酬代(0)、『役員報酬(0)、『源泉所得税(0)、『決算公告(0)
予備費	1,700,000	0	0.0%	
仮 払	—	△ 61,000	—	
小 計	47,161,700	1,896,303	4.0%	
会員一斉構築費	500,000	0	0.0%	
特別事業費	1,000,000	0	0.0%	
次月繰越金	29,977,183	32,487,459	108.4%	銀行(普)1)2,331,425、『銀行(普)2)2,656,034、『銀行(定)27,500,000
合 計	78,638,883	34,383,762	43.7%	

日本歯科保存学会 認定委員会 2020年度月次決算書(5月分)

(2020年4月1日～2020年5月31日)(単位:円)

項 目	予 算	5月次決算	執行率	備 考
前年度繰越金	22,626,679	22,626,679	100.0%	
認定医申請料	700,000	10,000	1.4%	10,000円×1人
認定医審査料	1,400,000	20,000	1.4%	20,000円×1人
認定医登録料	700,000	0	0.0%	10,000円×0人
専門医申請料	100,000	30,000	30.0%	10,000円×3人
専門医審査料	300,000	90,000	30.0%	30,000円×3人
専門医登録料	100,000	0	0.0%	10,000円×0人
指導医申請料	100,000	10,000	10.0%	10,000円×1人
指導医審査料	300,000	30,000	10.0%	30,000円×1人
指導医登録料	100,000	0	0.0%	10,000円×0人
認定医更新料	670,000	10,000	1.5%	10,000円×1人
専門医更新料	1,990,000	130,000	6.5%	10,000円×13人、再更新者受験料@30,000×0人、再更新者審査料・登録料@20,000×0人
指導医更新料	660,000	30,000	4.5%	10,000円×3人
雑収入	3,000	0	0.0%	銀行利息、認定証再発行料
小計	7,123,000	360,000	5.1%	
合 計	29,749,679	22,986,679	77.3%	

項 目	予 算	5月次決算	執行率	備 考
会議費	1,800,000	0	0.0%	委員会開催費・事前審査開催費
研修費	500,000	0	0.0%	第152回大会、第153回大会
事務印刷費	1,300,000	6,573	0.5%	認定証・更新記録カード・資料作成費
事務消耗品費	80,000	0	0.0%	文具代
通信費	400,000	2,866	0.7%	振込料、TEL・FAX代、切手・レターパック・宅配便代
事務委託費	1,835,460	305,910	16.7%	152,955円×2ヶ月分
認定委員会積立金	1,000,000	0	0.0%	
予備費	100,000	0	0.0%	
小計	7,015,460	315,149	4.5%	
次月繰越金	22,734,219	22,671,530	99.7%	銀行(普)314,493 郵振 22,357,037
合 計	29,749,679	22,986,679	77.3%	

機 関 誌 関 係 報 告

(R2. 2. 14～ R2. 5. 28)

学会誌の発行および編集状況

1) 第 63 卷 1 号の発行について

令和 2 年 2 月 29 日発行 4,384 部 (うち海外 20 部)

掲載論文: 12 編 [修復 (5), 歯内 (3), 歯周 (3), その他 (1)]

うち英文論文 2 編 症例報告: 2 編

内容: 電子ジャーナル化に伴う冊子体発行の終了について, 認定医申請のお知らせ, 指導医・専門医申請手続に関してのお知らせ, 指導医・研修施設一覧, 指導医・専門医合格者一覧, 定款, 倫理規程, 投稿規程, 投稿の手引き, 編集後記 (八重柏 隆委員), 賛助会員名簿, 投稿票, 投稿の手引き (冊子), 認定医制度規則・施行細則, 専門医制度規則・施行細則 (冊子)

2) 第 63 卷 2 号の発行について

令和 2 年 4 月 30 日発行 4,347 部 (うち海外 20 部)

誌上シンポジウム (2019 年度秋季学術大会時開催学会主導型シンポジウム)

掲載論文: 8 編 [修復 (4), 歯内 (3), 歯周 (1), その他 (0)] うち英文論文 2 編

内容: 春季総会および認定医・専門医申請について, 電子ジャーナル化に伴う冊子体発行の終了について, 秋季学術大会案内, 投稿規程, 編集後記 (山本一世委員), 賛助会員名簿, 投稿票

3) 第 63 卷 3 号の発行について

令和 2 年 6 月 30 日発行予定

掲載論文: 5 編 [修復 (0), 歯内 (2), 歯周 (3), その他 (0)] うち英文論文 2 編

内容: 秋季学術大会についてのお知らせ, 電子ジャーナル化に伴う冊子体発行の終了について, 優秀発表賞, 投稿規程, 編集後記 (山本松男委員), 賛助会員名簿, 投稿票

4) 第 63 卷 4 号の発行について

令和 2 年 8 月 31 日発行予定 (学会ホームページ上にて PDF 形式で公開予定)

総説: 1 編 (田上順次先生 or 西谷佳浩先生)

投稿論文: 6 編 [修復 (1), 歯内 (2), 歯周 (1), その他 (2)]

症例報告 (2019 年度春季学術大会 専門医・認定医優秀症例発表賞) 4 編

内容: 秋季学術大会についてのお知らせ, 学会賞・学術賞・奨励賞の募集について, 学会賞・学術賞・奨励賞選考経過および結果, 認定医申請のお知らせ, 指導医・専門医申請手続に関してのお知らせ, 指導医・研修施設一覧, 指導医・専門医合格者一覧, 役員名簿, 委員会名簿, 編集連絡委員, 予算・決算, 投稿規程, 編集後記 (湯本浩通委員), 賛助会員名簿, 表彰制度規程・細則, 認定医制度規則・施行細則, 専門医制度規則・施行細則 (冊子), 投稿票

*下線ありのものは、従来、とじ込み葉書や別冊子のもの。

編集委員会報告

(R2. 2. 14～ R2. 5. 28)

1. 編集委員会および編集連絡委員会の開催状況

- ・開催なし

2. 学会誌の発行

- ・第 63 巻 2 号まで発行した。

3. 学会誌の編集

- ・第 63 巻 3 号に投稿された論文 5 編，4 号に投稿された論文 6 編および専門医・認定医優秀症例発表賞受賞者の投稿論文 6 編（症例報告：2019 年度春季学術大会を含む）の査読中である。

以上

日本歯科保存学会

2020 年度春季理事会用資料

2020 年 5 月 29 日 作成

(編集 委員会)

委員長名： 中田 和彦

報告事項：

1. 日本歯科保存学雑誌のオンライン化について

1) メールおよび誌上での告知

- ・ OHASYS メール配信での案内 (3 月 4 日・5 月 8 日)
「63 巻 4 号 (8 月末日発行予定) より、学会ホームページ上で PDF 形式での公開といたします。学会ホームページのお知らせをご参照ください。」
- ・ 63 巻 1 号 (2 月末日発行) および 2 号 (4 月末日発行)
「電子ジャーナル化に伴う冊子体発行の終了について」：1 ページ (pink)

2) 著者掲載料の改定 (引き下げ) とそれに伴う投稿規程の変更について

- ・ 掲載料の改定に関して学会ホームページ「学会誌」の項に掲載済み
- ・ 投稿規程は 63 巻 3 号で変更

2. 専門医・認定医優秀症例発表賞の受賞者からの投稿論文について

2019 年度春季学術大会の対象者 6 名全員から投稿済み

* 「症例報告」として編集委員会で査読中

* 依頼稿ではあるが一般の症例報告と同一の体裁とするよう徹底

3. 電子版における広告掲載位置について

巻頭 5 頁程度および後付に掲載の予定

4. 論文撤回申請について

2014-2015 年掲載の 2 論文につき、研究活動上の不正行為のため論文撤回の申し出があった。編集委員会 (関係者を除く) で審議の結果により誌上および J-stage 等で対応を行う。

協議事項：

特になし

8. 筆頭著者が会員の場合のみ、一定額の掲載料補助を行う。
12. E-mail 投稿または学会ホームページ等からの web 投稿とする。

日本歯科保存学雑誌投稿規程

1. この学術雑誌は、研究成果の論文発表による発信を通して、歯科保存学（保存修復学、歯内療法学、歯周病学）の発展に寄与することを目的としている。そのため、歯科保存学の基礎、臨床、教育ならびに歯科保存学を基盤とした歯科医学全般に関する論文を掲載する。
2. 論文の種類は、原著論文（独創性がある研究の成果に関するもの）、総説（歯科保存学に関する争点を整理して今後の方向性を示唆しようとするもの、あるいは既発表論文の内容をまとめて新たな概念を提唱しようとするもの）、ミニレビュー（歯科保存学に関する最近のトピックを総説形式で簡潔にまとめたもので、各賞の受賞論文を含む）、症例・臨床報告（歯科保存学領域から広く歯科医療の実践と発展に有用となる臨床の記録）などの4種に分類する。なお、総説とミニレビューは、編集委員会からの依頼によるものと投稿によるものに分ける。
3. 原著論文および症例・臨床報告の内容は、過去に他誌に掲載されたり、現在投稿中あるいは掲載予定でないものに限る。
4. 論文の採否は、査読を経て決定する（編集委員会からの依頼によるものを除く）。
5. 投稿原稿は、日本語または英語で簡潔に記述されたものとする。
6. 原著論文の形式は、原則として和文（英文）抄録、緒言、材料および方法、結果あるいは成績、考察、結論、文献、英文（和文）抄録の順に記載する。原著論文以外の論文も、原則としてこれに準ずる。
7. 本誌の発行は、原則として2月、4月、6月、8月、10月および12月に行う。また、必要があれば増刊する。
8. 学会からの掲載料補助は、刷り上がり9頁までは一定額の掲載料補助を行う。ただし、筆頭著者が非会員である場合には、掲載料補助は行わない。また、筆頭著者が会員であるが共著者に非会員が含まれる場合については、掲載料補助は行われるが非会員の人数に応じて別途負担金を求める。なお、図表・写真などの実費、発送および別刷にかかわる費用、J-STAGE 登載用データ作成代は、著者負担とする。ただし、編集委員会からの依頼によるものは除くものとする。
9. 論文投稿票は、最新のものをを用い、投稿原稿に必ず添付する。
10. 受付日は、投稿原稿が学会事務局へ到着した日付とする。また、受理日は、査読担当者から採択可と判定された日付とする。
11. 掲載順序は、受理順とする。なお、採択論文の掲載証明は希望がある場合に発行する。
12. 論文投稿は学会ホームページ上からの Web 投稿、e-mail 投稿、または郵送とする。投稿原稿の送付先は、学会事務局とする。
13. 著者による校正は、原則として2校までとする。その際には、字句の著しい変更、追加、削除などは認めない。校正刷は所定の日までに必ず返却する。校正不要の場合には、その旨表紙左側に明記する。
14. 本誌掲載の著作物の著作権は、本学会に帰属するものとする。
15. この規程にない事項は、別に編集委員会で決定する。

附則

1. 本規程は平成6年11月10日から施行する（第38巻第1号より適用）。
2. 本規程は平成7年10月26日から一部改正し施行する。
3. 本規程は平成9年6月5日から一部改正し施行する。
4. 本規程は平成11年11月17日から一部改正し施行する。
5. 本規程は平成16年6月9日から一部改正し施行する。
6. 本規程は平成18年11月9日から一部改正し施行する。
7. 本規程は平成20年6月5日から一部改正し施行する。
8. 本規程は平成21年10月28日から一部改正し施行する。
9. 本規程は平成22年6月3日から一部改正し施行する。
10. 本規程は平成24年6月28日から一部改正し施行する。
11. 本規程は平成25年6月27日から一部改正し施行する。

投稿にあたっては「投稿規程」のほか、必ず各巻の1号に掲載されている「投稿の手引き」に準拠すること。

日本歯科保存学会

2020 年度春季理事会用資料

2020 年 5 月 17 日 作成

(医療合理化委員会) 委員長名：高柴正悟

報告事項：

<診療報酬改定>

- 1) 厚生労働省から診療報酬改定に関する照会（根管内異物除去）
⇒2/13 回答
- 2) 歯保連試案 2019 作成依頼（歯保連試案 2019 入力システム）
⇒4/27：項目入力最終確認依頼
⇒5/19：修正依頼
➡ 社会保険対策小委員会での対応

<日本歯科医学会連合>

医療問題関連事業採択課題

- ・平成 28 年度 担当：細矢哲康理事
英文論文掲載済み（DMJ, 38(5), 2019：9 月末発行）
- ・平成 29 年度 担当：高柴正悟理事
英文論文要掲載
- ・平成 30 年度 担当：林美加子理事
英文論文要掲載 JDSR 投稿済み 5/21

<う蝕治療ガイドライン作成小委員会>

- 1) う蝕治療ガイドライン第 3 版（根面う蝕のガイドライン）が完成し、
学会 HP で公開 2/10
- 2) う蝕治療ガイドライン第 3 版の情報を Minds 診療ガイドライン
レジストりに登録 3/21
- 3) 委員会(WEB 会議)を開催 (4/29, 5/1, 5/26)
- 4) Minds 主催の以下の講演会等に林美加子委員長が出席
Minds Tokyo GRADE Center 設立記念講演会
第 22 回 診療ガイドライン作成グループ意見交換会
第 1 回 Minds Tokyo GRADE Center ワークショップ
(2019/11/29-30)
- 5) 日本接着歯学会学術委員会（二階堂徹委員長）より、「レジ
ンコーティングの診療指針」の確認依頼があり回答

協議事項：

日本歯科保存学会

2020年度春季理事会用資料

2020年5月24日 作成

(学術委員会)

委員長名：齋藤 正寛

報告事項：

1. 2019年度市民公開フォーラム開催報告 ⇒別紙 収支報告書

日 時：2019年9月14日(土) 13:00～16:00

会 場：新潟大学 新潟医療人育成センター4F ホール

テーマ：むし歯とむし歯治療の行方

担 当：新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野
野杵由一郎 教授

日 時：2019年11月23日(土・祝) 13:30～16:00

会 場：神奈川歯科大学附属病院講堂(12階)

テーマ：歯と歯ぐきを守って健康長寿—知っておきたいポイントあれこれ—

担 当：神奈川歯科大学大学院口腔統合医療学講座保存修復学
向井義晴 教授

2. 2020年度市民公開フォーラム(歯内分野)

興地 隆史 理事(医歯大)、柴 秀樹 理事(広島大)を
予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みると
本年度は開催を中止し、HPへの記事掲載などで対応する。

3. 日本歯科医学会令和2年度プロジェクト研究費申請公募

委員会で2案を作成⇒全理事に研究分担者としての参加希望を募り、
歯科医学会へ提出 5/29

4. 第24回日本歯科医学会学術大会公募セッション演題募集

理事からの応募希望がなかったため、2月の常任理事会で対応検討

<保存学会から応募 2件>

- ・シンポジウム：診療ガイドラインに沿ったう蝕治療—歯髄保護と根面う蝕への対応
- ・歯科衛生士セッション：認定歯科衛生士「う蝕予防管理」の魅力を探る

<他学会からの依頼で共同提案とした応募 2件>

- ・日本口腔衛生学会 フッ化物応用委員会委員長 相田先生より
「幼少期から高齢期まで21世紀のフッ化物応用を考える」(仮)
- ・日本歯内療法学会 石井信之先生より

「Symposium Title: Traditional vs Minimal Invasive Endodontics」

- 5 2020 年度秋季学術大会(第 153 回)における学会主導型プログラムについて
中山大学 Songtao Shi 教授の招聘について WEB 開催での講演方法を
検討・交渉する

協議事項：

日本歯科保存学会 2019 年度 市民公開フォーラム

主管：新潟大学 医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 う蝕学分野

収支決算報告書

収入の部 (単位：円)

科目	決算額
開催補助金	500,000
	500,000

支出の部

科目	決算額	摘要
招聘関係費	269,680	講演費(54,000×4名)、旅費(2名)
打ち合わせ昼食費	14,186	演者、スタッフ6名分
会場費	44,800	新大医歯学総合病院 医療人育成センター
開催告知媒体作製費	27,576	チラシ/ポスター作製・印刷費
発表媒体購入費	100,224	PC
雑費	13,534	贈答資料作成関連費
使途特定寄付金オーバーヘッド	30,000	大学間接経費(手数料)
	500,000	

上記のとおり、収支決算についてご報告申し上げます。

2019年10月31日

主管：新潟大学 医歯学総合研究科

口腔健康科学講座 う蝕学分野

野杵由一郎

日本歯科保存学会市民公開フォーラム

開催日時：令和元年 11 月 23 日（祝・土）

主管：神奈川歯科大学口腔統合医療学講座保存修復学分野

収支決算報告書

収入の部	(単位：円)	
科目	決算額	
開催補助金	500,000	
収入合計	500,000	
支出の部	(単位：円)	
科目	決算額	概要
招聘関係費	265,858	講演費(講師3名)、昼食代 等
スタッフ昼食費	19,828	スタッフ計19名
開催告知媒体製作費	213,004	チラシ、ポスター、タウン情報誌記事製作費 等
雑費	1,310	振込手数料、筆記用具、等
支出合計	500,000	

上記のとおり、収支決算についてご報告申し上げます。

2019年11月29日

神奈川歯科大学口腔統合医療学講座保存修復学分野

向井義晴

日本歯科医学会プロジェクト研究費公募申請

テーマ A： より安全安心な歯科医療環境の提供を目指して

研究代表者：高柴正悟（岡山大・日本歯科保存学会学術委員会
副委員長）

提案： 患者自らが管理する PHR による安全安心な歯科医療の実現

概要： 日頃から口腔状況を患者自らが把握することで患者の歯科受診に対する行動変容を目指し、患者の歯科医療に関するリテラシーと歯科医療の質の向上に資する社会の仕組みを構築・普及する。具体的には、患者説明時に用いた資料をセキュリティのあるスマートフォン等に画像情報として自ら取り込んで、必要があるときに自ら見直して習慣を修正したり、新たに受診した医療機関へ提示（あるいは提供）したりする。暗号化された情報として日常的にファイルを保存しているセキュリティのある既存のクラウドストレージへ保管し、必要時に検索して医療機関へ提示するなどして、急な転院時や非常時にも使用する。

テーマ B： 温故知新！金銀パラジウム合金呪縛からの解放

研究代表者：二階堂徹（朝日大・日本歯科保存学会学術委員会委員）

提案： メタルフリー修復実現に向けた臼歯修復物に関する多施設
臨床研究

概要： 臼歯部の修復法として、コンポジットレジン修復、メタルインレー修復が広く応用されているが、メタルインレーは、MIに反した修復法であり、金属の高騰と相まって見直しが急務である。う蝕治療ガイドライン（日本歯科保存学会編）においては、臼歯部へのコンポジットレジン修復の応用を推奨している。本研究では、臼歯部修復物についての多施設後向き臨床研究を実施し、臼歯部の修復状況と臨床成績を把握し、今後普及が予想される CAD/CAM インレーを含むメタルフリー修復の普及に向けて総合的に検討する。

日本歯科保存学会

2020 年度春季理事会用資料

2020 年 5 月 24 日 作成

(学会あり方 委員会) 委員長名：前田英史

報告事項：

2020 年 2 月 26 日より下記議題についてメール会議を行いました。

1. 学術大会開催時の託児室開設支援額について
2. 渉外委員会の設置について定款委員会と委員長間での調整について

結果を以下のようにご報告します。

1. 大会校が託児室を開設した場合、本学会より一律 10 万円の支援を行う
2. 渉外委員会設置について委員長間で話し合う
臨床歯科医および他機関からの理事推薦枠について
⇒現在、2 号理事は 12 名以内と規定されているため、
2 号理事数および定款の理事上限 80 名を増やしていく方向性を確認

協議事項：

1. 託児室開設支援額および支出方法について
⇒大会校が託児室設置の場合、10 万円を補助する。
また予算は、学会あり方委員会の活動費に毎年 20 万円を計上する。
2. 渉外委員会規程（案）について
⇒臨床歯科医および他機関からの本学会理事非推薦者の人選、ならびに他学会および他機関と本学会の連携（福岡での 2019 年度第 2 回理事会で承認）について、それを任務とする渉外委員会を新設するにあたり、他の委員会と同様の形の規程案を上程。

日本歯科保存学会

2020年度春季理事会用資料

2020年5月29日 作成

(学術用語 委員会) 委員長名：齋藤 淳

報告事項：

1. 用語集の改訂

- ・ 歯内療法学用語集 ・ 保存修復学用語集 (2023年発行予定)
- (1) 作業グループごとに活動を開始(新用語, 削除用語等の選出)
リーダー 歯内：根本先生, 保存修復：鳥井先生
- (2) 日本歯内療法学会との連携
理事長・委員長連名の文書を事務局から発送した(2/21)。

2. その他

協議事項：

特になし

日本歯科保存学会

2020 年度春季理事会用資料

2020 年 5 月 29 日 作成

(国際交流委員会) 委員長名： 佐野 英彦

報告事項：Covid-19 パンデミックのため、不確定な事項が多い

1. 台湾牙體復形学会関連

- 1) 日本歯科保存学会春季大会の現地大会中止を通知 (4/15)
その他の詳細については後日通知する旨を連絡
- 2) 台湾牙體復形学会
本年 9 月末に開催.

2. 大韓歯科保存学会関連

- 1) 第 153 回日本歯科保存学会秋季大会および第 22 回日韓歯科保存学会
WEB 開催の場合の対応 韓国側との検討
韓国側には抄録のメ切を 7 月 15 日と連絡
- 2) 今後、日韓若手セッションを一般のプログラム (口頭) に組み込む件に
関しては、韓国側と今後継続して話し合いを行う.

3. トルコ歯科保存学会との交流

福岡での秋季学術大会時の懇親会に、IAD2020 のプロモーションで参加

Dr. Sema Belli

セルジュク大学教授 (エンド)

President Turkish Society for Adhesive Dentistry

Dr. Esra Can

イエディテペ大学教授 (修復)

President Turkish Society of Restorative Dentistry

Dr. Fusan Ozer

ペンシルバニア大学教授 (修復) で IAD2020 の組織委員メンバー

先方も積極的に日本歯科保存学会との国際交流協定を希望している。

また、将来日本歯科保存学会学術大会時に国際学会を併催する可能性を視野に入れ、それに関して協力要請をお願いする可能性についても理解を得ている。

現在、協定書の雛形 (日韓保存学会間の協定書を参照) に関しても了承済み。
今後は、申し合わせ事項を英文化して先方からの了承を得る。委員会で確認中。

トルコ歯科保存学会との国際交流協定の締結スケジュールについて

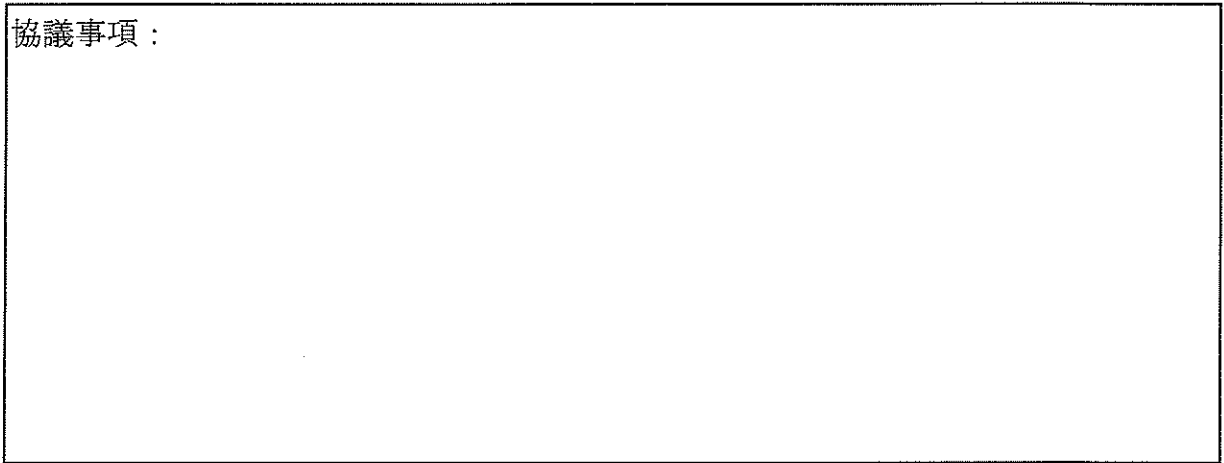
⇒秋季理事会で、協定書と申し合わせを上程

承認を得た後、できるだけ早期に調印式を執り行う。

(例えば秋季大会時期に合わせて、WEB 上で行うなど)

Covid-19 パンデミックのため、不確定な事項が多いため、トルコとの調整を図る。

協議事項：



日本歯科保存学会

2020年度春季理事会用資料

2020年 5月 15日 作成

(認定 委員会)

委員長名：五十嵐勝

報告事項：

- 1) 第151回秋季大会における専門医・認定医優秀症例発表賞の審査
大会2日目の11月8日に、以下の審査結果を前田英史大会長に報告した。
<専門医優秀症例発表賞授賞者>
歯内 P10
大墨竜也(新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野)
歯周 P11
二宮雅美(徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野)
<認定医優秀症例発表賞授賞者>
歯内 P12
川西雄三(大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座)
歯周 P14
須藤瑞樹(東北大学大学院歯学研究科歯内歯周治療学分野)
- 2) 研修施設での指導医不在
福岡での2019年第2回理事会で、同大学・施設の他講座指導医に研修証明の代行をお願いする場合もあるが委員会での審査を要することを確認した。(しおり・細則には明記せず個別に対応することとした。)
- 3) 3月8日(日)日本歯科大学にて予定されていた専門医・認定医試験は、
新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、延期とした。
・専門医 6名、認定医 31名の受験を予定していた。
・9月の試験と合わせて実施することを予定⇒感染の状況により判断する。
・専門医試験受験予定者が、試験予定日だった3月8日以降近日中に留学予定との申し出があったため、「留学から帰国後の再受験で対応する」と回答した。
- 4) 以下2件は承認とした。
・研修施設新規申請の件(九州大学病院口腔総合診療科)
主任指導医 和田尚久先生
・研修施設名称変更の件(長崎大学病院口腔管理センター)

5) 第 152 回大会について 現地開催中止・誌上開催
専門医優秀症例発表賞・認定医優秀症例発表賞：
審査中止（抄録上は、同賞対象演題として表記される）
秋季大会時へ審査を繰越

協議事項：

指導医認定の件

認定医・専門医・指導医更新者認定の件

日本歯科保存学会

2020年度春季理事会用資料

2020年6月12日 作成

(認定歯科衛生士審査委員会) 委員長名：野杵由一郎

報告事項：

1. 昨年度 2020年3月31日～2020年4月3日
2019年度第1回認定歯科衛生士審査委員会（メール審議実施）
 - ① 副委員長を選出
 - ② テキストブックの作成と執筆担当の概要について
 - ③ 令和2年度の事業計画について
 - ④ 当委員会設立までの経緯の報告と委員会構成員の確認

2. 第1回の委員会（6月4日開催：WEB会議）を開催
紙

協議事項：

認定歯科衛生士専門審査制度規則・施行細則・施行細則暫定制度
の制定の件

公社日衛発113号
令和2年1月28日

特定非営利活動法人日本歯科保存学会
理事長 田上順次 様

公益社団法人日本歯科衛生士会
会長 武井典



認定歯科衛生士 認定分野Bの申請について (回答)

本会の運営につきましては、平素から格別のご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。
令和2年1月9日付文書をもって依頼のありました標記については、令和2年度より
本会の認定歯科衛生士制度「認定分野B う蝕予防管理」として登録することを承諾い
たします。

第1章 総則

(趣旨)

第1条 本制度は、歯科保存学のう蝕予防管理に関する専門的知識と臨床技能を有する認定歯科衛生士の養成と、その生涯にわたる研修を図ることにより、歯科保健医療水準の向上と普及を図り、もって人々の健康の増進に寄与することを目的とする。

第2条 前条の目的を達成するために、特定非営利活動法人日本歯科保存学会（以下「本会」という）は、公益社団法人日本歯科衛生士会（以下「日本歯科衛生士会」という）認定歯科衛生士制度規則第14条二に基づく認定歯科衛生士（認定分野B：う蝕予防管理）（以下「認定歯科衛生士」という）及び同規則第18条第2項に基づく専門審査のための制度を設け、本制度の実施に必要な事業を行う。

第2章 認定歯科衛生士審査委員会

(認定審査委員会)

第3条 本会は、認定歯科衛生士の専門審査と本制度の運用を適正に行うために認定歯科衛生士審査委員会（以下「認定審査委員会」という）を設置する。

(委員)

第4条 認定審査委員会は、委員長1名を含む定員8～10名の委員をもって構成される。

- 2 委員長ならびに委員は、本会指導医あるいは認定歯科衛生士として認定された本会正会員とする。
- 3 委員の任期は2年、半数交替制とし再任を妨げない。
- 4 委員長は理事長が指名し、委員は委員長が推薦する。

第5条 認定審査委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

- 2 認定審査委員会の議事は、委員長を除く出席者数の過半数をもって決し、賛否同数の場合は委員長の決するところによる。

第3章 申請資格

第6条 認定歯科衛生士の資格を申請する者は、以下の各号をすべて満たしていなければならない。ただし、認定審査委員会の推薦を経て、理事会で承認を受けた者はこの限りではない。

- 1) 日本国歯科衛生士の免許を有する者
- 2) 認定歯科衛生士申請時において、本会の正会員歴が継続して3年以上であり、かつ認定歯科衛生士申請時に日本歯科衛生士会の会員である者
- 3) 第4章第8条に規定するう蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に関わる研修内容を満たした者

第4章 認定研修

第7条 認定研修は、認定歯科衛生士として、う蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に関して高度な知識と技術を修得することを目的とする。

第8条 認定研修は、次の各号を満たさなければならない。なお、1)～2) についての細目は別に定める。

- 1) 大学病院、病院歯科、歯科診療所等において、3年以上、う蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に従事し、所属長の推薦を得ること
- 2) 本会が主催する学術大会または研修会、または日本歯科衛生士会が主催する研修会に出席すること

第5章 専門審査

第9条 認定歯科衛生士の専門審査を受けようとする者は、審査料を添えて、別に定める申請書類を認定審査委員会に提出しなければならない。

第10条 認定歯科衛生士の専門審査に際しては、書類審査を行い、合格者に対しては別に定める試験を行う。試験は、認定審査委員会がこれを行う。認定審査委員会は、その結果に基づき認定歯科衛生士の専門資格の判定を行い、理事会の承認を得る。本会は試験合格者を日本歯科衛生士会に推薦する。

第6章 資格の認定

第11条 認定歯科衛生士の認定登録及び認定証の交付は本会の推薦に基づき、日本歯科衛生士会が「日本歯科衛生士会認定歯科衛生士制度規則」等に即してこれを行う。

第7章 資格の更新

第12条 認定歯科衛生士の資格更新に係る専門審査のために、本会より審査委員を日本歯科衛生士会認定歯科衛生士審査会に派遣する。

認定歯科衛生士の更新については、公益社団法人日本歯科衛生士会の「認定歯科衛生士制度規則施行細則」及び「認定歯科衛生士認定更新の手引き」に基づき行う。

第8章 資格の喪失

第13条 認定歯科衛生士は、次の1)～3)の一に該当したとき、理事会の決定によりその資格を喪失するものとする。本会における資格の喪失については、日本歯科衛生士会に報告する。

- 1) 日本国歯科衛生士の免許を喪失したとき
- 2) 本会正会員の資格を喪失したとき
- 3) 認定審査委員会が認定歯科衛生士として不相当と認めたとき

第9章 補則

- 第14条 本会会員は、認定審査委員会の決定に関する異議を、理事会に申し立てることができる。
- 第15条 第5章第9条に定める審査料については別に定める。
- 第16条 認定歯科衛生士の専門審査は原則として年1回とする。
- 第17条 認定歯科衛生士の申請内容に変更が生じた場合は、速やかにその内容を認定審査委員会に届け出なくてはならない。
- 第18条 認定歯科衛生士に認定及び更新された本会正会員については、本会総会で報告する。
- 第19条 提出された申請書類の内容については、その受領とともに本会に守秘義務が発生するものとする。
- 第20条 この規則の施行についての細則ならびに細則暫定制度は、常任理事会の承認を経て、理事会に報告し、別に定める。
- 第21条 この規則の改廃は、委員会の議を経て、常任理事会及び理事会の承認を得なければならない。

附 則

この規則は、令和2年 月 日に制定し、施行する

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 認定歯科衛生士専門審査制度施行細則

(趣 旨)

第1条 特定非営利活動法人日本歯科保存学会（以下「本会」という）認定歯科衛生士（以下「認定歯科衛生士」という）専門審査制度規則（以下「規則」という）に定めた事項以外については、この細則に基づき運営する。

(認定単位)

第2条 規則第8条に基づく認定歯科衛生士の専門審査申請のための認定研修は、研修単位で表し、次に定める各号により算定するものとする。専門審査申請のために必要な研修単位は23単位とする。

- 1) 細則第2条に該当する施設でのう蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に関する経歴
9単位以上
 - (1) 臨床経験 1年につき 3単位
- 2) 本会が主催する学術大会または研修会等への出席
14単位以上を必要とする。なお、各研修単位は、日時、時間にかかわらず1回あたりのものとする。
 - (1) 本会学術大会 5単位
 - (2) 認定歯科衛生士審査委員会（以下「認定審査委員会」という）が認めた歯科衛生士研修会またはシンポジウム 4単位

(申請書類)

第3条 規則第6条を満たし、専門審査の申請をする者は、申請審査料を添えて、次の各号に定める書類を、認定審査委員会に提出しなければならない。

- 1) 専門審査申請書（様式1）
- 2) 履歴書（様式2）
- 3) 本会会員歴証明書（様式3）
- 4) 研修証明書（実務経験証明書）（様式7）
- 5) う蝕予防管理に関する症例報告書（様式5）
- 6) 本会学術大会または研修会等出席記録（様式4、4-1）
- 7) 日本国歯科衛生士免許証（写し）

(専門審査)

第4条 規則第9条に定める審査料は10,000円とする。

第5条 規則第10条に基づく試験は、う蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に関する筆記試験および症例報告の書面審議によるものとする。

(その他)

第6条 この細則の改廃は、委員会の議を経て、常任理事会及び理事会の承認を得なければならない。

附 則

この細則は、令和2年 月 日に制定し、施行する。

(趣 旨)

第1条 特定非営利活動法人日本歯科保存学会（以下「本会」という）認定歯科衛生士専門審査制度は、本会認定歯科衛生士専門審査制度規則（以下「規則」という）に基づき運営するが、規則の承認後、2年の施行細則暫定期間を設けることとする。

(認定歯科衛生士審査委員会)

第2条 認定歯科衛生士審査委員会（以下「認定審査委員会」という）は、委員長1名を含む定員10名の委員をもって構成される。

- 2 委員長ならびに委員は、本会指導医とする。
- 3 委員の任期は2年とする。
- 4 委員長は理事長が指名し、委員は委員長が推薦する。

第3条 認定審査委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

- 2 認定審査委員会の議事は、委員長を除く出席者数の過半数をもって決し、賛否同数の場合は委員長の決するところによる。

(認定単位)

第4条 規則第8条に基づく認定歯科衛生士の専門審査申請のための認定研修は、研修単位で表し、次に定める各号により算定するものとする。専門審査申請のために必要な研修単位は13単位とする。

- 1) 細則第2条に該当する施設でのう蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に関する経歴9単位以上を必要とする。

(1) 臨床経験 1年につき 3単位

- 2) 本会が主催する学術大会または研修会等への出席

4単位以上を必要とする。なお、各研修単位は、日時、時間にかかわらず1回あたりのものとする。

(1) 本会学術大会 5単位

(2) 認定歯科衛生士審査委員会（以下「認定審査委員会」という）が認めた歯科衛生士研修会またはシンポジウム 4単位

(申請書類)

第5条 規則第6条を満たし、専門審査の申請をする者は、申請審査料を添えて、次の各号に定める書類を、認定審査委員会に提出しなければならない。

- 1) 専門審査申請書（様式1）
- 2) 履歴書（様式2）
- 3) 本会正会員歴証明書（様式3）
- 4) 研修証明書（実務経験証明書）（様式7）
- 5) 本会学術大会または研修会等出席記録（様式4, 4-1）
- 6) 日本国歯科衛生士免許証（写し）

(専門審査)

第6条 規則第9条に定める審査料は10,000円とする。

第7条 規則第10条に基づく試験は、う蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に関する筆記試験と必要に応じ口頭試問（面接）によるものとする。

（その他）

第8条 この暫定制度の改廃は、委員会の議を経て、常任理事会及び理事会の承認を得なければならない。

附 則

この細則は、令和2年 月 日に制定し、施行する。

日本歯科保存学会

2020 年度春季理事会用資料

2020 年 6 月 5 日 作成

(表彰 委員会) 委員長名：北村知昭

報告事項：

- 1) 2020 年 2 月 3 日に表彰委員会を開催した。
 - ・ 2020 年度学会賞、学術賞、奨励賞の受賞者を選考した。
 - ・ 学術賞の同意書提出 ⇒表彰制度規程・細則の改定による明確化の必要

- 2) 春季大会（第 152 回）優秀ポスター賞
修復 2 演題、歯内 3 演題、歯周 3 演題 エントリーがあり、優秀ポスター賞対象演題とした。
 - 審査中止（抄録上は、優秀ポスター賞対象演題として表記）
 - 2020 年度秋季学術大会（第 153 回）時に合わせて審査を実施予定
 - 審査の実施方法：WEB 開催に対応するため、リモートでの審査を含め検討中
 - スポンサー 3 社に通知済み

- 3) 春季大会（第 152 回）での表彰式について
春季大会中止に伴い秋季大会を予定。春季理事会承認後に受賞者を HP で公開。
⇒秋季大会の WEB 開催により、受賞者には郵送等での対応を検討。

- 4) 優秀ポスター賞選考方法の変更案について理事会で提案することとした。

協議事項：

- ・ 2020 年度学会賞及び学術賞、奨励賞授賞候補者の件
- ・ 優秀論文賞・優秀ポスター賞(2019 年度秋季大会)選考結果の件
- ・ 優秀ポスター賞選考方法の変更案の件
優秀ポスター賞でトライアル、フラッグシップモデルとして適用する。
可能であれば 2021 年度春季大会からの運用。
- ・ 表彰制度規程・細則の改定の件

2020年2月3日

特定非営利活動法人
日本歯科保存学会
田上順次 理事長 殿

特定非営利活動法人
日本歯科保存学会
表彰委員会
委員長 北村知昭
副委員長 新海航一
委員 岩田隆紀
梅田誠
古澤成博
松島潔
三辺正人
吉山昌宏

受賞候補者推薦書

特定非営利活動法人日本歯科保存学会表彰委員会は、2020年2月3日東京駅八重洲倶楽部において開催しました。

応募者は、日本歯科保存学会学会賞に2名、日本歯科保存学会学術賞に4名、日本歯科保存学会奨励賞に6名でした。

提出された学会賞推薦申請書、学術賞応募申請書、奨励賞応募申請書、申請論文などについて慎重な審議の結果、本委員会は受賞候補者を以下の通り選考し、推薦申し上げます。

(1) 日本歯科保存学会学会賞 (50 音順)

【講評】

日本歯科保存学会の各々の専門分野において、多大な研究成果を国内外に発信されてきたこと、ならびに本会の会務運営に極めて著明な貢献を果たしてこられたことから学会賞候補者として、下記の 2 氏を推薦する。

1. 小木曾文内 木ノソブンナイ (理事・元常任理事)

所属：日本大学歯学部・教授

2. 栗原 英見 クハラ ヒデミ (理事・元常任理事)

所属：広島大学大学院医系科学研究科・教授

(2) 日本歯科保存学会学術賞 (50 音順)

【講評】

4 名からの応募があった。選考に当たっては、主として以下の項目について考慮した。

- 1) 一連の研究成果
- 2) 学術領域への貢献度
- 3) 各委員のコメント

島田康史氏・保坂啓一氏は各委員の評定得点が高かった。

慎重審議の結果、下記の 2 氏を学術賞候補者として推薦する。

1. 島田康史 シマダ ヤシ

所 属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科保存修復学分野・准教授

応募論文：波長掃引型光干渉断層計 (SS-OCT) を用いた象牙質齲蝕診断の有用性
臼歯咬合面齲蝕と隣接面齲蝕の診断における画像特性の影響
島田 康史, 荒木 和之, 角 保徳, 田上 順次, 吉山 昌宏
日本歯科保存学雑誌 62 ; 296-303 : 2019
上記他 4 編

2. 保坂啓一 ホサカ ケイチ

所 属：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学講座
う蝕制御学分野

応募論文：Ultra-high-speed videography of resin-dentin interface failure dynamics
under tensile load

Keiichi Hosaka, Antonin Tichya, Masaomi Ikeda, Keiichi akagawa, Alireza Sadr, Junji Tagami, Masahiro Takahashi, Kento Sato, Yoshihiro Nishitanif, Celso Afonso Klein-Junior, David H. Pashley, Masatoshi Nakajima
Dental Materials 35 巻 e153 頁～e161 頁 (2019 年発表)

上記他 4 編

(3) 日本歯科保存学会奨励賞 (50 音順)

【講評】

6名からの応募があった。選考に当たっては、以下の選考基準に従った。

- 1) 独創性：課題の着想、研究方法の選択、結果の解釈などに独自の見解が認められるか。
- 2) 論理性：実験の展開、結果の考察、結論の導き方などに妥当性がみとめられるか。
- 3) 発展性：研究の将来性、さらなる成果が期待できるか。
- 4) 貢献性：保存学領域の研究、教育、臨床への波及効果は大きいか。

選考の結果、各委員の評定点数の総得点において、以下の6氏が共に著明に高い得点であったことより、奨励賞候補者として理事会に推薦する。

1. 上村 怜央 ウェムラ レオ

所 属：大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座(歯科保存学教室)

応募論文：UVA-activated riboflavin promotes collagen crosslinking to prevent root caries
Scientific Reports 9 巻 1252 頁～(2019 年発行)

研究発表：UVA 活性リボフラビン処理による象牙質う蝕予防・進行抑制効果の検討
(2017 年度 秋季学術大会発表)

2. 榮樂菜保子 エイク ナホ

所 属：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野

応募論文：BMP9 directly induces rapid GSK3- β phosphorylation in a Wnt-independent manner through class I PI3K-Akt axis in osteoblasts
The FASEB Journal 33 巻 11 号 12124 頁～12134 頁(2019 年発行)

研究発表：骨芽細胞分化における BMP9 の特異的シグナル伝達経路の解明
(2018 年度 秋季学術大会発表)

3. 大杉 勇人 オスギ ユウジン

所 属：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究 歯周病学分野

応募論文：Evaluation of bone healing following Er:YAG laser ablation in rat calvaria compared with bur drilling
Journal of Biophotonics 2019 MAR;12(3) : e201800245 (2019 年発行)

研究発表：Er : YAG レーザーによる骨組織蒸散後の新生骨形成の評価と遺伝子発現解析
(2018 年度 秋季学術大会発表)

4. 坂本英次郎 カモト エンジロウ

所 属：徳島大学病院歯科歯周病科

応募論文：Advanced glycation end-product 2 and Porphyromonas gingivalis lipopolysaccharide increase sclerostin expression in mouse osteocyte-like cells
BONE 122 巻 22 頁-30 頁 (2019 年発行)

研究発表：終末糖化産物と LPS は骨細胞由来スクロスチンを介し骨芽細胞分化を抑制する
(2018 年度 春季学術大会発表)

5. 吉田和真 ヨシダ カズマ

所 属：広島大学大学院医系科学研究科歯髓生物学教室

応募論文：Heparin-LL37 complexes are less cytotoxic for human dental pulp cells and have undiminished antimicrobial and LPS-neutralizing abilities
International Endodontic Journal 52 巻 1327 頁~1343 頁 (2019)

研究発表：Heparin との可逆的な結合は抗菌活性および LPS 中和能を減弱することなく、高濃度 LL37 の細胞障害性を改善する
(2019 年度 春季学術大会発表)

6. 吉田 航 ヨシダ ヲタル

所 属：東京歯科大学歯周病学講座大学院

応募論文：Combined effects of systemic parathyroid hormone (1- 34) and locally delivered neutral self - assembling peptide hydrogel in the treatment of periodontal defects: An experimental in vivo investigation
Journal of Clinical Periodontology 46 巻 1030 頁~1040 頁 (2019 年発行)

研究発表：副甲状腺ホルモンの全身投与および局所応用での中性自己組織化ペプチドとの併用がラットの歯周組織欠損の治癒に及ぼす影響
(2019 年度 春季学術大会発表)

以上

2020年1月28日

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
表彰委員会 委員長 北村 知昭 殿

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
編集委員会委員長 中田和彦

日本歯科保存学会優秀発表賞（年間優秀論文賞）受賞者について

2019年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会優秀発表賞（年間優秀論文賞）受賞者について、編集委員会は慎重な審議の結果、日本歯科保存学雑誌62巻掲載論文から下記の3論文を受賞論文と決定しましたのでご報告いたします。

記

保存修復学分野（ジーシー優秀論文賞）

「亜鉛ガラス含有ガラスアイオノマーセメントによる根面脱灰抑制効果の検討」

（62巻4号掲載）

著者：高橋 圭，島田康史，田上順次，吉山昌宏

筆頭著者所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
生体機能再生・再建学講座 歯科保存修復学分野

歯内療法学分野（カボデンタル優秀論文賞）

「Evaluation of Apical Pressure During Root Canal Irrigant Activation Using a Diode Laser with an Optothermal Converter-coated Tip」（62巻6号掲載）

著者：本郷智之，渡辺 聡，高野 晃，山内慎也，星原康宏，八尾香奈子，佐竹和久
興地隆史

筆頭著者所属：東京医科歯科大学（TMDU）大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻
口腔機能再構築学講座 歯髄生物学分野

歯周病学分野（松風優秀論文賞）

「キサントフモールの *Porphyromonas gingivalis* に対する効果」（62巻6号掲載）

著者：平木大地，植原 治，原田文也，高井理衣，高橋周平，虎谷斉子，森川哲郎，
安彦善裕

筆頭著者所属：北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系臨床口腔病理学分野

以上

2019年11月8日

特定非営利活動法人
日本歯科保存学会
理事長 田上順次 殿

特定非営利活動法人
日本歯科保存学会
表彰委員会
委員長 北村 知昭

日本歯科保存学会学術大会
優秀ポスター賞受賞者について

2019年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会秋季学術大会（第151回）において、表彰委員会は慎重な審議の結果、下記の3名を優秀ポスター賞受賞者と決定しましたのでご報告いたします。

記

保存修復学分野（松風優秀ポスター賞）

邱 友靖 先生（北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系う蝕制御治療学分野）

P.3「生体活性型接着性モノマーCMETは象牙芽細胞分化を誘導する」

邱 友靖、松田 康裕、斎藤 隆史

歯内療法学分野（ジーシー優秀ポスター賞）

枝並直樹 先生（新潟大学医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野）

P.4「なぜ Regenerative endodontic procedures は多様な治癒形態を生じさせるのか：

ラット根未完成臼歯における免疫組織学的研究」

枝並直樹、白柏麻里、吉羽邦彦、大倉直人、吉羽永子、遠間愛子、竹内亮祐、

野杣由一郎

歯周病学分野（カボデンタル優秀ポスター賞）

高倉那奈 先生（九州歯科大学口腔機能学講座口腔保存治療学分野）

P.7「新規 NIK 阻害剤の骨吸収阻害薬としての効果の検討」

高倉那奈、自見英治郎、松田美穂、日浦史隆、森馨代、北村知昭

以上

表彰制度規程

(趣 旨)

第1条 本会定款第45条、同66条及び同5条第1項第8号に定める事業として、本会の学術領域に優れた業績が認められた者の表彰及び若手研究者の育成に関し、必要な事項を定めるために本会表彰制度規程を設ける。

(種 類)

第2条 表彰及び若手研究者の育成のために次の賞を設ける。

- (1) 日本歯科保存学会学会賞 (以下「学会賞」という。)
- (2) 日本歯科保存学会学術賞 (以下「学術賞」という。)
- (3) 日本歯科保存学会奨励賞 (以下「奨励賞」という。)

(審査対象)

第3条 各賞の審査対象は、次のとおりとする。

- (1) 学会賞：本会における学会活動および役員、委員会等の履歴、あるいは歯科保存学に関する一連の研究。
- (2) 学術賞：歯科保存学に関する一連の研究に対する5編以上の原著論文で、この中の1編以上は応募年度を含む過去3年度間に本会の発行する学術雑誌 (以下「本会機関誌」という。) に掲載されているもの
- (3) 奨励賞：応募年度を含む過去3年度間に本会学術大会で発表し、本会機関誌又は他の学術雑誌等に掲載された原著論文1編

(資 格)

第4条 各賞は、次の各号に該当する者に授与する。

- (1) 学会賞：次のイであり、かつロまたはハに該当する
イ、本会会員歴が25年以上である。
ロ、本会の学会活動または役員会あるいは委員会における会務に関する貢献が顕著である。
ハ、本会機関誌への投稿等で本会の学術的發展に寄与した。
- (2) 学術賞：
イ、本会会員歴が10年以上である。
ロ、前条第2号の原著論文で1編以上が筆頭著者である。
- (3) 奨励賞：
イ、前条第3号の原著論文の筆頭著者である。
ロ、応募時に40歳未満である。

(推薦・応募)

第5条 各賞に対する推薦・応募は、次のとおりとする。

- (1) 学会賞は、本会理事の推薦によるものとする。
- (2) 学術賞は、前条第1項第2号に定める資格を有する者の応募とする。
- (3) 奨励賞は、前条第1項第3号に定める資格を有する者の応募とする。

(授賞数)

第6条 各賞の授賞数は、次のとおりとする。

- (1) 学会賞は、毎年度若干名とする。
- (2) 学術賞は、毎年度3名以内とする。
- (3) 奨励賞は、毎年度6名以内とする。

(選 考)

第7条 各賞の候補者は、表彰委員会において審査選考する。

(決 定)

第8条 前条により選出された候補者は、常任理事会及び理事会の議を経て受賞者と決定する。

(表彰等)

第9条 各賞の受賞者には、賞牌及び副賞を毎年総会時に授与する。

(細 則)

第10条 この規程の細則は、委員会及び常任理事会、理事会の議を経て別に定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、委員会及び常任理事会の議を経て、理事会の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、平成16年6月9日から施行する。

この規程は、平成24年4月1日に一部改正し、施行する。

この規程は、平成27年6月24日に一部改正し、施行する。

この規程は、平成30年6月13日に一部改正し、施行する。

この規程は、令和2年 月 日に一部改正し、施行する。

表彰制度規程細則

(趣 旨)

第1条 本会表彰制度規程第10条に基づき、学会賞、学術賞及び奨励賞の受賞候補者選考に関する必要な事項等について定めるため、本会表彰制度規程細則を設ける。

(選考基準)

第2条 各賞の選考は、次のとおりとする。

(1) 学会賞

- イ、本会における学会活動、役員会あるいは委員会における会務に関する貢献が顕著であると認められる。
- ロ、本会の学術的発展に大きく貢献したと認められる。

(2) 学術賞

- イ、論文の内容が、歯科保存学分野において一連の研究成果を得たものである。
- ロ、論文の内容が、学術領域に大きく貢献したものである。

(3) 奨励賞

- イ、研究の方法や目的に新規性があり、将来その課題に関して更なる成果が期待できる。
- ロ、臨床への示唆が大きく、十分な理論的背景を備えている。

(募集方法)

第3条 各賞候補者の募集は、毎年度の本会機関誌第4号及び第5号において行う。また、学術賞及び奨励賞応募申請書は、毎年度の本会機関誌第5号に綴じ込むものとする。

(申請手続)

第4条 各賞候補者の申請は、次のとおりとする。

(1) 学会賞:本会理事の推薦によるものとし、次の書類を添えて当該年度の12月31日までに理事長に申請する。

イ、学会賞推薦申請書(所定の用紙) 1通

(2) 学術賞:学術賞を希望する本会会員は、次の書類を添えて当該年度の12月31日までに理事長に申請する。

イ、学術賞推薦申請書(所定の用紙) 1通

ロ、申請論文の別刷又はコピー 12通

ハ、共著論文の場合は、応募論文ごとの共著者の同意書 . . . 1通

(3) 奨励賞:奨励賞を希望する本会会員は、次の書類を添えて当該年度の12月31日までに理事長に申請する。

イ、奨励賞推薦申請書(所定の用紙) 1通

ロ、申請論文の別刷又はコピー 12通

ハ、共著論文の場合は、共著者の同意書 1通

(副 賞)

第5条 副賞の内容については、当該年度の諸般の事情を加味し、毎年、常任理事会において決定する。

(書類の返却)

第6条 提出書類(論文別刷を含む。)は、返却しない。

(細則の改廃)

第7条 この細則の改廃は、委員会及び常任理事会の議を経て、理事会の承認を得なければならない。

附 則

この細則は、平成16年6月9日から施行する。

この細則は、平成24年4月1日に一部改正し、施行する。

この細則は、平成27年6月24日に一部改正し、施行する。

この細則は、令和2年 月 日に一部改正し、施行する。

日本歯科保存学会

2020年度春季理事会用資料

2020年 5月 29日 作成

(倫理 COI 委員会) 委員長名：阿南 壽

報告事項：

1. 第151回秋季学術大会の倫理/COI委員会および令和元年第2回理事会において、会員行動規範抵触事案への委員会对応の終了が報告されました。なお、井上弁護士の指導のもと、通知文を作成し、発送しましたが、異議申し立てがなかったため、「会員資格停止処分」が確定しました。
2. 第151回秋季学術大会の倫理/COI委員会およびメール会議において、学会としての倫理教育について検討しました。その結果、本委員会より倫理講習の必要性について発信することが提案されました。また、学会として行う倫理講習については、引き続き委員会で検討していくこととなりました。
3. 日本歯科医学会より、2019年12月26日付で専門分科会および認定分科会宛に、コンプライアンスの調査依頼がありました。そこで、理事長のご指示のもと、2020年1月7日、メール会議を開催し回答しました。
4. 倫理審査申請の問い合わせへの対応を行いました。 2020/02

協議事項：

特にありません。

日本歯科保存学会

2020 年度春季理事会用資料

2020 年 6 月 10 日 作成

(広報委員会)

委員長名：山本一世

報告事項：

下記の HP 更新等を行った。

2020-01-22

次期理事長選挙のご案内

日本歯科保存学会 2020 年度春季学術大会（第 152 回）事前登録の案内

日本歯科保存学会 優秀発表賞（優秀ポスター賞）の受賞結果

2020-02-10

「う蝕治療ガイドライン 第 3 版 根面う蝕の診療ガイドライン」を公開

2020-02-25

【重要】2019 年度第 2 回専門医試験（3 月 8 日）延期のお知らせ

【重要】2019 年度第 2 回認定医試験（3 月 8 日）延期のお知らせ

2020-03-03

日本歯科保存学雑誌電子化のお知らせ

2020-04-27

2020 年度第 1 回認定医認定審査のお知らせ

指導医・専門医申請手続に関してのお知らせ

2020-05-15

2020 年度春季総会および認定医・専門医・指導医申請について

日本歯科保存学会 2020 年度秋季学術大会（第 153 回）案内

2020-06-10

2020 年度春季学術大会（第 152 回）抄録集掲載および日本歯科保存学会

2020 年度春季学術大会（第 152 回）の現地開催中止・誌上開催について

協議事項：

日本歯科保存学会

2020年度春季理事会用資料

2020年 5月 4日 作成

(選挙管理 委員会) 委員長名： 高橋慶壮

報告事項：

2019年11月6日(水) 秋季日本歯科保存学会学術大会(第151回)時の理事会において、次期理事長推薦候補者を決定する選挙を行い、石井信之理事(神奈川歯科大学)が次期理事長候補者として承認されました。

選挙人(理事および評議員)に投票用紙を送付後、2020年1月24日(金)に投票締切。

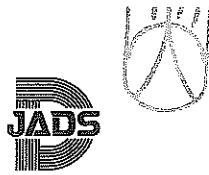
2020年2月6日(木) 選挙管理委員会で開票

2020年2月14日(金) 常任理事会で協議・承認

⇒春季理事会・総会に上程する。

協議事項：

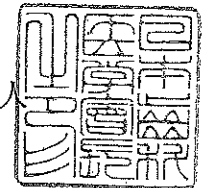
次期理事長選挙結果の件



日歯学会発第1号
令和2年4月1日

専門・認定分科会代表者 各位

日本歯科医学会
会長 住友雅人



令和2年度日本歯科医学会会長賞授賞候補者の推薦について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本学会会務運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記学会会長賞は本学会最高の顕彰であり、歯科医学研究、歯科医学教育、地域歯科医療のそれぞれの分野で顕著な業績をあげられ、本学会に貢献された会員に対し、贈呈するものであります。本件は、平成3年の顕彰制定以来、毎年実施しております。

つきましては、別添の「日本歯科医学会会長賞授賞基準」に基づきまして、各号に該当する候補者の推薦につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご推薦にあたっては、別添の該当する推薦書（様式1・様式2・様式3）に必要事項をご記入の上、7月31日（金）〈必着〉までに、本学会会長宛にてご推薦くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

謹白

[同封書類]

1. 日本歯科医学会会長賞授賞基準 1枚
2. 推薦書（様式1・様式2・様式3） 各1部
※日本歯科医学会HP (<http://www.jads.jp/>) よりダウンロード可
3. 候補者推薦にあたっての留意事項 1枚

日本歯科医学会会長賞授賞基準

第1条 この基準は、日本歯科医学会規程第27条の規定に基づき、これを定める。

第2条 日本歯科医学会会長賞（以下「学会会長賞」という。）は、この基準の定めるところにより授与する。

第3条 専門分科会代表者、認定分科会代表者、歯科大学学長、大学歯学部長、日本歯科医師会会長は、次の各号の1に該当する者があった場合、日本歯科医学会（以下「学会」という。）所定の様式により毎年7月末日までに学会会長に推薦するものとする。

- 一 歯科医学・医術の研究に成果を収め歯科医学・医療の向上に特に顕著な貢献があったと認められる者。
- 二 歯科医学教育に30年以上従事し、その向上に特に著しい功績があったと認められる者。
- 三 地域歯科医療に30年以上従事し、地域において指導的な役割を担い、地域社会の歯科保健衛生の向上に著しい功労があったと認められる者。

第4条 学会会長は、第3条の規定に該当する者の推薦があった場合、学会顕彰審議会の議を経て学会理事会において、7名以内を選び、学会会長賞を授与する。

授賞は、当該年度2月開催の評議員会において行う。

- 2 学会会長賞に副賞を合せて授与する。
- 3 第1項の学会顕彰審議会は、委員若干名をもって構成し、学会会長が委嘱する。
- 4 学会顕彰審議会委員の任期は、その委嘱した学会会長の在任期間とする。

第5条 この基準の改廃は、学会理事会の議を経て評議員会の議決を要する。

附 則

この基準は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成20年9月11日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この基準は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する第106条第1項に定める公益法人の登記の日から施行する。

一般社団法人日本歯科医学会連合 令和2年度定時社員総会 次第

開催日時 令和2年5月25日(月) 午後1時～2時

開催場所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター「カンファレンスルーム6E」

1. 開会の辞 副理事長 松村 英雄

2. 挨拶 理事長 住友 雅人

3. 報告・連絡
 - 1) 庶務報告(松村副理事長) 資料1 (P.1～2)
 - 2) 会計報告(松村副理事長) 資料2 (P.3)
 - 3) 常置委員会報告(委員長ならびに担当役員) 資料3 (P.4～8)
 - ① 将来構想検討委員会 (P.4)
 - ② 政策連携渉外委員会 (P.5～6)
 - ③ 医療職連携委員会
 - ④ 企画広報委員会
 - ⑤ 大型研究推進委員会 (P.7)
 - ⑥ 国際活動委員会 (P.8)
 - ⑦ 歯科専門医制度委員会
 - ⑧ 倫理利益相反委員会
 - ⑨ 医療事故調査委員会
 - ⑩ 臨床研究支援委員会
 - 4) その他(担当役員)
 - ① 令和元年度厚生労働省委託事業について
 - ② (一社)日本歯科専門医機構について
 - ③ (一社)日本医療安全調査機構について

4. 議題
 - 第1号 令和元年度事業報告に関する件 資料4 (P.9～14)
 - 第2号 令和元年度収支決算に関する件 資料5 (P.15～21)
 - 第3号 令和元年度事業および収支決算の監査に関する件 資料6 (P.22)
 - 第4号 次期監事の選任に関する件

5. 協議事項
 - 1) (一社)日本歯科医学会連合の今後の活動について
 - 2) その他

6. 閉会の辞 副理事長 川口 陽子

一般社団法人日本歯科専門医機構 令和2年度定時社員総会 次第

開催日時 令和2年6月17日（水）午後2時30～4時00分（予定）

開催場所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター3E

1. 開会の辞 柳川忠廣副理事長
2. 挨拶 理事長 住友雅人
3. 臨時社員総会議事録の確認 資料1(P.1～4)
4. 報告・連絡
 - 1) 庶務報告（今井業務執行理事：総務担当） 資料2(P.5～8)
 - 2) 会計報告（木本業務執行理事：会計担当） 資料3(P.9)
 - 3) 2019年度事業報告 資料4(P.10～16)
 - 4) 厚生労働省委託事業について 資料5(P.17～18)
 - 5) 歯科専門医制度等にかかる認証について
 - ①歯科専門医資格認定団体の専門医制度に係る
審査及び認証について 資料6(P.19～20)
 - ②歯科専門医制度の運用審査について 資料7(P.21～25)
 - 6) その他 参考資料
5. 議案
 - 1) 2019年度決算について 資料8(P.26～31)
 - 2) 2019年度事業および収支決算の監査報告 資料9(P.32)
 - 3) 次期役員の選任について 資料10(P.33～41)
 - 4) 役員報酬規程の改正について 資料11(P.42～45)
6. 協議事項
 - 1) 今後の専門領域について
7. 閉会の辞 鳥山佳則副理事長

一般社団法人日本歯学系学会協議会 (Council of Japan Dental Science of Societies)

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込TSビル4階 口腔保健協会内

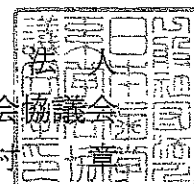
TEL : 03-3947-8891 FAX : 03-3947-8341

E-mail : gakkai18@kokuhoken.or.jp

2020年5月27日

会 員 各 位

一 般 社 団 法 人
日 本 歯 学 系 学 会 協 議 会
理 事 長 羽 村



選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長 尾 崎 哲 則

理事選出に伴う選挙開票結果通知について

拝啓

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は会務運営にご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。

早速ではございますが、次期理事候補者の推薦、理事選挙への投票と皆様にはご協力いただきまして有難うございました。

2020年5月19日に選挙管理委員会において開票作業が行われ、その開票結果に基づき以下8名を理事候補者として選出致しました。

理事候補者につきましては2020年6月に開催の社員総会にて承認いただくこととなります。総会承認後、任期2年となりますが、今後ともご協力いただきますようお願い致します。

敬具

理事選挙結果

- ・井上 富雄 (一般社団法人 歯科基礎医学会)
- ・今井 裕 (一般社団法人 日本有病者歯科医療学会)
- ・末瀬 一彦 (一般社団法人 日本歯科技工学会、
一般社団法人 日本デジタル歯科学会)
- ・鄭 漢忠 (公益社団法人 日本口腔外科学会)
- ・外木 守雄 (特定非営利活動法人 日本睡眠歯科学会)
- ・中村 誠司 (一般社団法人 日本口腔内科学会)
- ・馬場 一美 (公益社団法人 日本補綴歯科学会)
- ・羽村 章 (一般社団法人 日本老年歯科医学会、
日本総合歯科学会)

(敬称略、50音順)

2020年5月27日

一般社団法人 日本歯学系学会協議会
理事選出に伴う選挙開票結果について

1. 選挙人（加入 82 学会）に 4 月 13 日投票用紙を送付。
投票期間は 2020 年 4 月 13 日（月）～5 月 13 日（水）とした。
2. 2020 年 5 月 19 日 9 時 30 分より、選挙管理委員会を開催し、選挙管理委員
立ち会いのもとで、厳正に開票作業を行った。
3. 開票結果は下記の通りである。
投票総数 : 63 通（投票率 76.8%）
有効投票数 : 59 通
無効投票数 : 4 通

結果

- ・井上 富雄（一般社団法人 歯科基礎医学会）
- ・今井 裕（一般社団法人 日本有病者歯科医療学会）
- ・末瀬 一彦（一般社団法人 日本歯科技工学会、
一般社団法人 日本デジタル歯科学会）
- ・鄭 漢忠（公益社団法人 日本口腔外科学会）
- ・外木 守雄（特定非営利活動法人 日本睡眠歯科学会）
- ・中村 誠司（一般社団法人 日本口腔内科学会）
- ・馬場 一美（公益社団法人 日本補綴歯科学会）
- ・羽村 章（一般社団法人 日本老年歯科医学会、
日本総合歯科学会）

（敬称略、50 音順）

一般社団法人
日本歯学系学会協議会
選挙管理委員会
委員長 尾崎 哲則
委員 岡田 智雄
委員 矢島 安朝

日本歯科保存学会2019年度秋季学術大会(第151回) 決算

【収入の部】

項 目	決 算
大会参加登録[事前] 578名	5,780,000
大会参加登録[当日] 528名	6,336,000
展示会関係費 賛助会員 28コマ 非賛助会員 26コマ 電機使用料・電気工事 企業負担	1,400,000 1,560,000 209,155
広告掲載料 大会Web広告	90,000
協賛金・助成金 企業/コンベンション協会等	2,359,440
補助金 日本歯科保存学会本部	3,250,000
雑収入 預金利息等	45,908
学術大会収入小計	
	21,030,503
懇親会参加費 祝儀等 有料参加者 111名	1,110,000 40,000
懇親会収入小計	
	1,150,000
合 計	
	22,180,503

【支出の部】

項 目	決 算
<当日運営諸経費> 会場借用費 映像・音響・照明 機材 製作品・レンタル品・備品・消耗品 運営・サポート費用 講師料・講師旅費・講演関係費 飲食関係費(ランチョンセミナー、講師・スタッフ弁当)	2,267,712 3,646,550 2,880,435 1,570,972 1,279,810 1,462,500
<事前準備諸経費> 広報・演題処理関係 印刷物・製作関係費 通信関係費 雑役費	1,429,613 1,296,400 315,672 126,000
<事後処理関係費> 印刷物・製作関係費 通信関係費	80,700 20,950
学術大会支出小計	
	16,377,314
懇親会関係費 飲食代 会場関係費・雑役費	1,358,630 330,725
懇親会支出小計	
	1,689,355
[事務委託費]	2,218,050
[消費税・源泉徴収]	1,895,784
合 計	
	22,180,503

～ 人生 100 歳時代を迎え、次世代型の保存治療学を求め～

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2020 年度秋季学術大会(第 153 回)

テーマ	人生 100 歳時代を迎え、次世代型の保存治療学を求め
会 期	WEB 開催：2020 年 11 月 16 日（月）～30 日（月）
会 場	WEB 開催
大会長	横瀬敏志（明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野 教授）
準備委員長	市村 葉（明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野 准教授）
実行委員長	門倉弘志（明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野 講師）

【重要】日本歯科保存学会 2020 年度秋季学術大会（第 153 回）開催方法に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響を鑑み、10 月 22 日、23 日開催予定の学術大会の現地開催は、やむなく断念することといたしました。本学術大会は Web 方式での開催で準備を進めております。

演題募集、事前参加登録、Web 開催の概要等、詳細につきましては随時、本学術大会ならびに学会ホームページ等にてお知らせ致します。皆様には大変なご心配とご不便をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

<日本歯科保存学会 2020 年度秋季学術大会（第 153 回）ホームページ>

<http://www.kokuhoken.jp/jscd153/>

演題および抄録登録期間

2020 年 6 月 22 日（月）～8 月 18 日（火）14:00 まで

発表形式

発表形式は、WEB 公開による口演・ポスター発表です。

演題申込み時には「口演」「ポスター」を選択してください。

重要 口演発表はパワーポイントに音声を書き込んだ mp4 データをお送りいただきます。

ポスター発表は最終的に掲示されるポスターのデータを PDF にてお送りいただきます。

上記のようにいただいたデータは、WEB 学会期間中は、参加登録者には Web 上で公開されることをご了承いただきます。

また、参加者（閲覧者）からは各発表についての質問を受け付けるフォームも構築し、受け付けますので、回答の対応をお願いすることになります。

日本歯科保存学会 学術大会開催予定

(2020年度秋季大会～2022年度秋季大会)

	日 時	会 場	担当校・大会長
2020年度秋季大会(第153回)	2020. 11.16(月)～30(月)	WEB開催	明海大・歯・保存治療学 横瀬敏志教授
2021年度春季大会(第154回)	2021.6.9 6/10～11	鹿児島市民文化ホール	鹿児島大・歯・歯科保存学 西谷佳浩教授
2021年度秋季大会(第155回)	2021.10.27 10/28～29 ※10/30 サテライト:歯科衛生 生士プログラム(会場未定)	朱鷺メッセ	新潟大・歯・う蝕学 野村由一郎教授
2022年度春季大会(第156回)	2022.6.24(金) 6/25(土)～26(日)	けんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター)	奥羽大・歯・歯内療法学 木村裕一教授
2022年度秋季大会(第157回)	2022.11.9(水) 10(木)～11(金)	岡山コンベンションセンター	岡山大・歯・歯周病態学 高柴正悟教授
2023年度春季大会(第158回)	2023.未定	未定	東歯大・歯内療法学 古澤成博教授
2023年度秋季大会(第159回)	2023.未定	未定	朝日大・歯・歯冠修復学 二階堂徹教授

(注)上段:各種委員会、理事会開催日

下段:評議員会、総会、学術大会開催日

- ・第9回日韓歯科保存学会学術大会:2007年11月8日～9日(岡山大学担当)
- ・第10回日韓歯科保存学会学術大会:2008年11月28日～29日(ソウル)
- ・第11回日韓歯科保存学会学術大会:2009年11月12日～14日(済州島)
(大韓歯科保存学会50周年記念大会)
- ・第12回日韓歯科保存学会学術大会:2010年10月28日～29日(朝日大学担当)
- ・第13回日韓歯科保存学会学術大会:2011年11月10日～11日(ソウル)
- ・第14回日韓歯科保存学会学術大会:2012年11月22日～23日(広島大学担当)
- ・第15回日韓歯科保存学会学術大会:2013年11月23日～24日(韓国・Gyeongju)
- ・第16回日韓歯科保存学会学術大会:2014年10月30日～31日(日歯大新潟担当)
- ・第17回日韓歯科保存学会学術大会:2015年11月12日～13日(日大松戸担当)
(日本歯科保存学会60周年記念大会)
- ・第18回日韓歯科保存学会学術大会:2016年10月22日～23日(ソウル)
- ・第19回日韓歯科保存学会学術大会:2017年10月26日～27日(岩手医科大学担当)
- ・第20回日韓歯科保存学会学術大会:2018年11月10日(ソウル)
(日韓歯科保存学会20周年記念大会)
- ・第21回日韓歯科保存学会学術大会:2019年(韓国)
(大韓歯科保存学会60周年記念大会)
- ・第22回日韓歯科保存学会学術大会:2020年11月16日～30日(明海大学担当)

2020年2月6日

特定非営利活動法人
日本歯科保存学会
理事長 田上順次 殿

日本歯科保存学会 次期理事長選出に伴う選挙開票結果についての報告書

1. 特定非営利活動法人日本歯科保存学会定款ならびに細則に従い、次期理事長選挙についての会告を日本歯科保存学雑誌第62巻第6号に掲載した。
2. 選挙人(理事および評議員：総数335名)に投票用紙を送付。投票期間は2020年1月10日(金)～1月24日(金)とした。なお、投票締切日は1月24日(当日消印有効)とした。
3. 選挙管理委員会を2020年2月6日(木)に八重洲倶楽部にて開催し、開票作業を行った。
(出席者5名：高橋慶壮 委員長、宮崎真至 副委員長、海老原新・武市 収・前田博史 各委員、事務局1名)
4. 「役員の構成と選出に関する規程」「理事長選出に関する細則」「理事長選挙内規1・2」に従い、公正かつ厳正に開票作業を行った。
5. 開票結果は下記の通りである。

投票総数：259票(2020年1月24日 当日消印有効) (投票率77.3%)

有効投票数：247票

(結果) ・石井信之 241票
・その他理事票 6票

無効投票数：12票

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
選挙管理委員会

委員長 高橋 慶壮

副委員長 宮崎 真至

委員 海老原 新

武市 収

前田 博史

—理事推薦の件—

(推薦順)

< 1号理事 >

- * 亀山敦史 理事(松本歯科大学歯科保存学講座(修復))
- * 吉成伸夫 理事(松本歯科大学歯科保存学講座(歯周)) よりご推薦

増田宜子 (マサダ ヨシコ) 教授

(松本歯科大学歯科保存学講座)

・2000年7月25日入会 (会員 No. 132943)

(指導医 : No. 310 専門医 : No. 1063)

- * 井上 哲 理事(北海道大学大学院歯学研究院臨床教育部門)
- * 佐野英彦 理事(北海道大学大学院歯学研究院歯科保存学教室) よりご推薦

菅谷 勉 (カニヤ ツム) 教授

(北海道大学大学院歯学研究院歯周・歯内療法学教室)

・1992年4月1日入会 (会員 No. 080825)

(指導医 : No. 367 専門医 : No. 888)

- * 佐藤秀一 理事(日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座)
- * 宮崎真至 理事(日本大学歯学部歯科保存学第Ⅰ講座) よりご推薦

武市 収 (タケイ ヌサ) 教授

(日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座)

・1987年10月1日入会 (会員 No. 105783)

(指導医 : No. 166 専門医 : No. 587)

- * 河野 哲 理事(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野 歯内療法学)
- * 二階堂徹 理事(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野 歯冠修復学)
よりご推薦

辰巳順一 (タツミ ジュンイチ) 教授

(朝日大学歯学部口腔感染医療学講座歯周病学分野)

・1995年4月20日入会 (会員 No. 100842)

(専門医 : 無資格)

2019年11月6日開催の2019年度第2回理事会（福岡市）において、日本歯科衛生士会と連携につき、認定歯科衛生士制度の新設・理事枠の新設をご承認頂きました。認定歯科衛生士制度の運営にあたり、日本歯科衛生士会からご推薦頂きました立澤敦子氏を2号理事としてご推薦申し上げます。また、合わせて認定歯科衛生士審査委員会委員にご就任いただきましたので、制度運用にご尽力いただきたいと思いますと考えております。ご協議の程お願い申し上げます。

田上順次

<2号理事>（任期：承認日より～2021年3月31日）

立澤敦子（タシザリ アツコ）（公益社団法人 日本歯科衛生士会幹事長）
所属：一般財団法人 歯科医療振興財団
（本学会会員 No. 148909・認定歯科衛生士審査委員会委員）

参考：現在の2号理事（任期：2020年4月1日～2021年3月31日）

- 1 川上智史 北海道医療大学歯学部高度先進保存学分野（継続）
- 2 井上 哲 北海道大学大学院歯学研究院臨床教育部門（継続）
- 3 音琴淳一 松本歯科大学病院総合口腔診療部（継続）
松本歯科大学大学院健康増進口腔科学分野
- 4 荒木孝二 東京医科歯科大学統合教育機構教学IR部門（継続）
- 5 長谷川篤司 昭和大学歯学部歯科保存学講座総合診療歯科学部門（継続）
- 6 鳥井康弘 岡山大学病院総合歯科（継続）
- 7 廣藤卓雄 福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野（継続）
- 8 北村和夫 日本歯科大学附属病院総合診療科（継続）
- 9 吉羽邦彦 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科（新任）
- 10 和田尚久 九州大学病院口腔総合診療科（新任）

【役員の構成と選出に関する規程】

（理事の委嘱）

第3条 理事長は、次の各号のいずれかに該当する者を理事として委嘱することができる。

- （1）歯科大学又は大学歯学部の歯科保存学の主任教授又は科目担当教授。ただし、定数は1機関3名とする。
- （2）前号以外の臨床系教授、基礎系教授、医科大学歯科系教授、総合病院歯科系部長及びこれらに相当し、本会での活躍が顕著で理事長が推薦する者。
ただし、その総数は12名以内とし、理事長は地域性、分野別に偏りがないように配慮して推薦する。
なお、臨床医については63歳未満の歯科保存治療専門医でなければならない。

—名誉会員推薦の件—

- * 佐藤秀一 理事・宮崎真至 理事（日本大学歯学部）よりご推薦

◎小木曾文内 前理事

- * 柴 秀樹 理事（広島大学大学院医系科学研究科）よりご推薦

◎栗原 英見 前理事

- * 湯本浩通 理事（徳島大学大学院医歯薬学研究部）よりご推薦

◎松尾 敬志 前理事長

2019年度特定非営利活動法人日本歯科保存学会事業報告書

1. 日本歯科保存学雑誌発行
Vol.62.No.2～Vol.63.No.1
2. 英文誌発行の企画・推進
3. 第150回春季学術大会および総会／第151回秋季学術大会開催
4. 2020年度学会賞・学術賞・奨励賞・優秀発表賞等の選考
5. 認定医・専門医試験の実施
6. 関連団体（日本歯科衛生士会等）との連携
7. 大韓歯科保存学会および台湾牙體復形学会との学術交流、海外学会との国際交流推進
8. 各種委員会活動
9. 学術委員会による学術大会における学会主導型プログラムの企画
10. 診療ガイドラインおよび教育ガイドラインの検討・作成
11. 会員数増加対策の具体的検討
12. 会員研修管理システム管理・運営
13. ホームページ管理・運営
14. 市民公開フォーラム開催
15. NPO法人としての活動・対応
16. 「歯科保存治療専門医」のあり方についての検討
17. その他

2019年度決算案の概要

【本会計】

① 2019年度決算報告

<歳入の部>

- ・詳細は決算報告書の備考の通り。
- ・入会金は20万8千円で前年度比13名減となっている。
- ・論文掲載料は、57.6%の執行率に留まった。掲載料の発生する原著論文などが昨年度と同等の投稿数に留まった。
- ・雑収入は、前年度と比して、単発的な収入である日本歯科医学会連合の研究助成金などがなかったため、61.2%の執行率となかった。
- ・その他の項目は概ね順調である。

<歳出の部>

- ・詳細は決算報告書の備考の通り。
 - ・会誌印刷費は、81.5%の執行率であった。
 - ・各種委員会費については、概ね予算通りの執行で、編集委員会が学術大会時に開催するなどで50万円程支出を抑えられ、93.1%の執行率となった。
 - ・国際交流費は、韓国・台湾との交流費は予算額通りであったが、ConsASIAに係る費用は発生しなかったため、51.7%の執行率となった。
 - ・関連団体経費は、会議出張費が見込みより多く、122.8%の執行率となった。
- ⇒小計の単年度収支は、1,159,041円のマイナスとなった。

② 会員データ構築積立金

- ・2019年度の新入会登録者へのバーコードカード発行費用を支出した。
- ・予算通りの執行。

③ 特別事業費

- ・150・151回学術大会の学会主導型プログラムに支出した。
- ・予算通りの執行。

【認定委員会会計】

① 認定委員会決算報告

<歳入の部>

- ・認定医申請は予算70名に対し、74名の申請があり、申請料・受験料ともに100%を超える執行率であった。
- ・専門医の新規申請は、予算通り10名の申請があった。
- ・指導医の新規申請は、予算10名に対し、7名の申請があった。
- ・更新料は、認定医・専門医・指導医ともに、更新対象者からの納入が順調であった。

<歳出の部>

- ・2020年3月に開催予定であった委員会（専門医・認定医試験を伴う）が新型コロナウイルス感染症のため、中止となり、会議費は50万円程支出が減少した。

⇒小計の単年度収支は、2,027,065円のプラスになった。

② 認定委員会積立金

- ・DNIの委託・管理・出張費を支出し、予算通りの執行となった。

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2019年度決算報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

項目	2019年度予算	2019年度決算	差異	執行率	備考
前年度繰越金	33,541,324	33,541,324	0	100.0%	
年度金	41,255,000	38,831,000	△ 2,424,000	94.4%	
(1)入会金	300,000	208,000	△ 92,000	69.3%	1,000円×208名
(2)本年度会費	34,425,000	32,828,000	△ 1,597,000	95.4%	
(3)過年度会費	4,380,000	3,856,000	△ 524,000	88.0%	'15(162,000)・'16(240,000)・'17(688,000)・'18(2,766,000)
(4)次年度会費	300,000	189,000	△ 111,000	63.0%	'20(180,000)・'21(9,000)
(5)賛助会費	1,850,000	1,850,000	0	100.0%	30社37口(うち社新入会)
論文掲載料	6,500,000	3,744,958	△ 2,755,042	57.6%	62/1(862,048)・62/2(421,168)・62/3(439,570)・62/4(568,207)・62/5(127,989)・62/6(837,570)・62/7(469,326)
広告掲載料	2,800,000	2,754,480	△ 45,520	98.4%	巻抄(397,440)・62/2(315,360)・62/3(315,360)・62/4(315,360)・62/5(321,200)・62/6(321,200)・62/7(294,800)
巨額学会助成金	990,000	990,000	0	100.0%	2019年度日本歯学会助成金(990,000)
雑収入	1,000,000	612,287	△ 387,713	61.2%	銀行利息(2,824)・積戻金事務費(402,103)・学術著作権協会複写料(117,564)・医学中央雑誌誌新誌抄録利用料(13,860)・電子文献館誌使用料(13,145)・用紙集印紙(14,592)・電子録音印紙(2,779)・ラベル代(45,420)
小計	52,545,000	47,032,725	△ 5,512,275	89.5%	
合計	86,086,324	80,574,049	△ 5,512,275	93.6%	

項目	2019年度予算	2019年度決算	差異	執行率	備考
次年度春季学会費	2,500,000	2,500,000	0	100.0%	大阪大学大学院歯学研究科(口腔分子感染制御学)
次年度秋季学会費	2,500,000	2,500,000	0	100.0%	明海大学歯学部(保存治療学)
会報抄録集印刷費	3,200,000	2,985,717	△ 214,283	93.3%	巻抄(1,457,976)・秋巻(1,527,741)
誌行会誌印刷費	16,000,000	19,037,420	△ 2,962,580	81.5%	62/2(1,917,138)・62/3(1,636,516)・62/4(1,975,411)・62/5(1,560,971)・62/6(1,107,260)・62/7(3,850,126)
会誌送付費	3,120,000	3,391,117	271,117	108.7%	62/2(568,722)・62/3(585,078)・62/4(668,940)・62/5(640,934)・62/6(582,583)・62/7(623,980)
通信運搬費	1,100,000	1,148,037	48,037	104.4%	会費請求(671,981)・切手・法外代(190,146)・TEL・FAX料(52,588)・宅配代(203,072)・振込料・手数料(30,270)
事務費	1,900,000	1,759,774	△ 140,226	92.6%	封筒(396,520)・資料印刷(752,585)・事務用品消耗品(21,169)・大会時資料(612,070)・入会申込書・領収書(67,580)・会員一々作成費(10,900)
巨額学会分担金	150,000	150,000	0	100.0%	2019年度
巨額学会連合会費	1,346,700	1,364,700	18,000	101.3%	2019年度
日本歯科専門医研修会会費	300,000	300,000	0	100.0%	
各種委員会費	7,200,000	6,700,810	△ 499,190	93.1%	常任委員会(2,482,323)・大会時委員会・委員会(1,836,298)・編集委員会(827,740)・表彰委員会(184,740)・医療合理化委員会(119,000)・社会保険対策委員会(41,300)・う蝕治療ガイドライン委員会(970,069)・うちガイドライン(第3版)PDF作成代(300,000)・学術用語委員会(2,000)・運営委員会(129,800)・倫理委員会(12,000)・歯科衛生士事務委員会(95,540)
事務局出張費	500,000	405,708	△ 94,292	81.1%	513,000×6ヵ月・522,500×6ヵ月
学会事務局委託費	6,156,000	6,213,000	57,000	100.9%	62/3(1,555,2)・62/4(1,555,2)・62/5(8,424)・62/6(66,000)・62/7(1,139,920)・62/2(50,160)
英文校閲費	500,000	295,608	△ 204,392	59.1%	大韓歯科保存学会との交流費(24,511)・台湾牙髓病学会との交流費(285,501)・トルコ歯科保存学会との交流費(40,000)
国際交流費	890,000	460,012	△ 429,988	51.7%	2019年度学会費(3件)・学術費(1件)・奨励費(6件)・履・賞状作成代(192,960)
表彰費	970,000	862,960	△ 107,040	89.0%	ドメイン使用料(64,800)・HP更新・管理費(522,400)
本一ムベニ運営費	600,000	587,200	△ 12,800	97.9%	新潟市・横須賀市
市民公開フォーラム開催費	1,000,000	1,000,000	0	100.0%	会議出張費(401,220)・歯学協年会費(50,000)・歯学協年会費(40,000)
関連団体経費	400,000	491,220	91,220	122.8%	都民科・事務費(92,300)・国医(51,600)・歯学士期間料12ヵ月分(392,400)・期間外料12ヵ月分(92,400)・法人学芸事務費(64,000)・決算額(33,000)・運営所帯料(106,257)・決算公告(50,248)
法人運営費	1,850,000	1,837,003	△ 12,997	99.3%	慶中費
予備費	250,000	201,480	△ 48,520	80.6%	
小計	52,432,700	49,191,766	△ 4,240,934	91.9%	
積立金	500,000	500,000	0	100.0%	
特別事業費	1,000,000	1,000,000	0	100.0%	
次年度繰越金	32,153,624	30,882,889	△ 1,271,341	96.0%	銀行(借)1,813,728・銀行(借)2,566,555・銀行(定)27,500,000
合計	86,086,324	80,574,049	△ 5,512,275	93.6%	

2019年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会
会員データ構築積立金決算書

自 2019年4月1日
 至 2020年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	500,000		本年度支出	170,898	①
銀行利息	886				
前年度繰越金	10,409,861		次年度繰越金	10,739,849	
合計	10,910,747		合計	10,910,747	

①バーコードカード作製代(212枚作製、107枚発送)

2019年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

特別事業費収支決算書

自 2019年4月1日
 至 2020年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	1,000,000		本年度支出	1,000,000	①②
銀行利息	1,762				
前年度繰越金	20,736,848		次年度繰越金	20,738,610	
合計	21,738,610		合計	21,738,610	

①第150回春季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円
 ②第151回秋季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 認定委員会 2019年度決算報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)(単位:円)

項 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	執行率	備 考
前年度繰越金	20,599,614	20,599,614	0	100.0%	
認定医申請料	700,000	740,000	40,000	105.7%	10,000円×74人
認定医審査料	1,400,000	1,540,000	140,000	110.0%	20,000円×77人(うち3名再受験)
認定医登録料	650,000	710,000	60,000	109.2%	10,000円×71人
専門医申請料	100,000	100,000	0	100.0%	10,000円×10人
専門医審査料	300,000	300,000	0	100.0%	30,000円×10人
専門医登録料	60,000	40,000	△ 20,000	66.7%	10,000円×4人
指導医申請料	100,000	70,000	△ 30,000	70.0%	10,000円×7人
指導医審査料	300,000	210,000	△ 90,000	70.0%	30,000円×7人
指導医登録料	100,000	80,000	△ 20,000	80.0%	10,000円×8人
認定医更新料	660,000	600,000	△ 60,000	90.9%	10,000円×60人
専門医更新料	1,570,000	1,580,000	10,000	100.6%	10,000円×158人、再更新者受験料@30,000×0人、再更新者審査料・登録料@20,000×0人
指導医更新料	410,000	350,000	△ 60,000	85.4%	10,000円×35人
雑収入	3,000	5,013	2,013	167.1%	銀行利息、認定証再発行料
小 計	6,353,000	6,325,013	△ 27,987	99.6%	
合 計	26,952,614	26,924,627	△ 27,987	99.9%	

項 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	執行率	備 考
会議費	1,500,000	629,462	△ 870,538	42.0%	委員会開催費(9月・3月(中止))・事前審査開催費(7月・1月)
研修費	500,000	500,000	0	100.0%	第150回大会、第151回大会
事務印刷費	1,200,000	1,124,868	△ 75,132	93.7%	認定証・更新記録カード・資料作成費
事務消耗品費	60,000	21,033	△ 38,967	35.1%	文具代
通信費	400,000	203,811	△ 196,189	51.0%	振込料、TEL・FAX代、切手・レターパック・宅配便代
事務委託費	1,802,088	1,818,774	16,686	100.9%	150,174円×6ヶ月分、152,955円×6ヶ月分
認定委員会積立金	0	0	0	0.0%	
予備費	100,000	0	△ 100,000	0.0%	
小 計	5,562,088	4,297,948	△ 1,264,140	77.3%	
次年度繰越金	21,390,526	22,626,679	1,236,153	105.8%	銀行(普)627,889 郵便 21,998,790
合 計	26,952,614	26,924,627	△ 27,987	99.9%	

2019年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

認定委員会積立金収支決算

自 2019年4月1日

至 2020年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
銀行利息	1,365		本年度支出	1,139,784	①
前年度繰越金	16,517,536		次年度繰越金	15,379,117	
合計	16,518,901		合計	16,518,901	

①DNI研修単位管理システム業務委託費・年間保守管理費・出張費 1,139,784円

繰越金内訳(三菱UFJ銀行)

定期預金

No.007	10,008,737
No.009	1,060,919
No.019	850,809
No.023	504,802
No.024	503,388
No.026	473,899
No.027	157,284
No.028	148,187
No.029	35,238
No.030	794,455
No.031	69,444
No.032	510,441
No.033	261,514

15,379,117 (うち本年度利息 1,365)

令和元年度 活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に 係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費	39,037,000	0	39,037,000
受取入会金	208,000	0	208,000
正会員受取会費	36,979,000	0	36,979,000
賛助会員受取会費	1,850,000	0	1,850,000
2 事業収益	12,819,438	0	12,819,438
論文掲載料	3,744,958	0	3,744,958
広告掲載料	2,754,480	0	2,754,480
認定事業収入	6,320,000	0	6,320,000
3 受取助成金等	990,000	0	990,000
日本歯科医学会助成金	990,000	0	990,000
4 雑収益	57,270	564,043	621,313
受取利息	6,850	0	6,850
その他の雑収入	50,420	564,043	614,463
経常収益計	52,903,708	564,043	53,467,751
II 経常費用			
1 事業費			0
(1) その他経費	47,289,589	210,413	47,500,002
学術大会事業費	5,000,000		5,000,000
市民公開フォーラム開催費	1,000,000		1,000,000
会誌刊行事業費	19,414,254		19,414,254
関連団体経費	491,220		491,220
英文校閲費	295,608		295,608
国際交流費	460,012		460,012
特別事業費	1,000,000		1,000,000
会員データー構築事業費	170,898		170,898
認定委員会事業費	5,437,732		5,437,732
表彰費	862,960		862,960
日歯学会分担金	150,000		150,000
日歯学会連合会費	1,364,700		1,364,700
日本歯科専門医機構年会費	300,000		300,000
各種委員会費	2,164,207	76,182	2,240,389
事務局出張費	401,096	4,612	405,708
通信連絡費	1,020,182	13,052	1,033,234
事務費	1,563,790	20,007	1,583,797
学会事務局委託費	5,521,064	70,636	5,591,700
法人運営費	150,061	19,249	169,310
ホームページ運営費	521,805	6,675	528,480
2 管理費			
(1) その他経費	7,156,494	0	7,156,494
各種委員会費	4,460,421	0	4,460,421
通信連絡費	114,803	0	114,803
事務費	175,977	0	175,977
学会事務局委託費	621,300	0	621,300
法人運営費	1,523,793	0	1,523,793
ホームページ運営費	58,720	0	58,720
渉外費	201,480	0	201,480
経常費用計	54,446,083	210,413	54,656,496
当期経常増減額	△ 1,542,375	353,630	△ 1,188,745
経常外収益			0
	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			0
	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
経理区分振替額	208,230	△ 208,230	0
税引前当期正味財産増減額	△ 1,334,145	145,400	△ 1,188,745
法人税、住民税及び事業税	0	145,400	145,400
前期繰越正味財産額	101,657,283	0	101,657,283
次期繰越正味財産額	100,323,138	0	100,323,138

貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	53,508,962		
前払費用	300,000		
特別事業引当特定資産	20,738,610		
会員データ構築引当特定資産	10,739,849		
認定事業引当特定資産	15,379,117		
流動資産合計		100,666,538	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			100,666,538
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	189,000		
未払法人税等	145,400		
流動負債合計		334,400	
2 固定負債			
長期前受金	9,000		
固定負債合計		9,000	
負債合計			343,400
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		101,657,283	
当期正味財産増減額		△ 1,334,145	
正味財産合計			100,323,138
負債及び正味財産合計			100,666,538

令和元年度 計算書類の注記

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっている。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	学術大会開催事業	市民公開講座等活動事業	機関紙発行事業	広報活動事業	連携交流事業
I 経常収益					
1 受取会費	10,554,300	3,518,100	14,072,400	3,518,100	3,518,100
2 事業収益	0	0	3,744,958	0	0
3 受取助成金等	990,000	0	0	0	0
4 雑収益	2,648	0	0	0	0
経常収益計	11,546,948	3,518,100	17,817,358	3,518,100	3,518,100
II 経常費用					
(1) その他経費					
学術大会事業費	5,000,000	0	0	0	0
市民公開フォーラム開催費	0	1,000,000	0	0	0
会誌刊行事業費	0	0	19,414,254	0	0
関連団体経費	0	0	0	0	491,220
英文校閲費	0	0	295,608	0	0
国際交流費	0	0	0	0	460,012
特別事業費	1,000,000	0	0	0	0
会員データ構築事業費	0	0	0	0	0
認定委員会事業費	0	0	0	0	0
表彰費	0	0	0	862,960	0
日歯学会分担金	0	0	0	0	150,000
日歯学会連合会費	0	0	0	0	1,364,700
日本歯科専門医機構年会費	0	0	0	0	300,000
各種委員会費	1,836,298	0	827,740	187,740	0
事務局出張費	401,096	0	0	0	0
通信連絡費	216,561	114,803	229,606	114,803	114,803
事務費	331,951	175,977	351,954	175,977	175,977
学会事務局委託費	1,171,964	621,300	1,242,600	621,300	621,300
法人運営費	319,374	169,310	338,620	169,310	169,310
ホームページ運営費	0	0	0	580,525	0
渉外費	0	0	0	0	0
その他経費計	10,277,244	2,081,390	22,700,382	2,712,615	3,847,322
経常費用計	10,277,244	2,081,390	22,700,382	2,712,615	3,847,322
当期経常増減額	1,269,704	1,436,710	△ 4,883,024	805,485	△ 329,222

科目	認定事業	広告掲載事業	著作権使用料 事業	その他の事業	事業部門計
I 経常収益					
1 受取会費	0	0	0	0	35,181,000
2 事業収益	6,320,000	2,754,480	0	0	12,819,438
3 受取助成金等	0	0	0	0	990,000
4 雑収益	6,378	0	564,043	48,244	621,313
経常収益計	6,326,378	2,754,480	564,043	48,244	49,611,751
II 経常費用					
(1) その他経費					
学術大会事業費	0	0	0	0	5,000,000
市民公開フォーラム開催費	0	0	0	0	1,000,000
会誌刊行事業費	0	0	0	0	19,414,254
関連団体経費	0	0	0	0	491,220
英文校閲費	0	0	0	0	295,608
国際交流費	0	0	0	0	460,012
特別事業費	0	0	0	0	1,000,000
会員データ構築事業費	0	0	0	170,898	170,898
認定委員会事業費	5,437,732	0	0	0	5,437,732
表彰費	0	0	0	0	862,960
日歯学会分担金	0	0	0	0	150,000
日歯学会連合会費	0	0	0	0	1,364,700
日本歯科専門医機構年会費	0	0	0	0	300,000
各種委員会費	0	0	76,182	3,772,850	6,700,810
事務局出張費	0	0	4,612	0	405,708
通信連絡費	114,803	114,803	13,052	114,803	1,148,037
事務費	175,977	175,977	20,007	175,977	1,759,774
学会事務局委託費	621,300	621,300	70,636	621,300	6,213,000
法人運営費	169,310	169,310	19,249	169,310	1,693,103
ホームページ運営費	0	0	6,675	0	587,200
渉外費	0	0	0	201,480	201,480
その他経費計	6,519,122	1,081,390	210,413	5,226,618	54,656,496
経常費用計	6,519,122	1,081,390	210,413	5,226,618	54,656,496
当期経常増減額	△ 192,744	1,673,090	353,630	△ 5,178,374	△ 5,044,745

科目	管理部門	合計
I 経常収益		
1 受取会費	0	35,181,000
2 事業収益	0	12,819,438
3 受取助成金等	0	990,000
4 雑収益	0	621,313
経常収益計	0	49,611,751
II 経常費用		
(1) その他経費		
学術大会事業費	0	5,000,000
市民公開フォーラム開催費	0	1,000,000
会誌刊行事業費	0	19,414,254
関連団体経費	0	491,220
英文校閲費	0	295,608
国際交流費	0	460,012
特別事業費	0	1,000,000
会員データ構築事業費	0	170,898
認定委員会事業費	0	5,437,732
表彰費	0	862,960
日歯学会分担金	0	150,000
日歯学会連合会費	0	1,364,700
調査研究費	0	300,000
各種委員会費	3,018,195	9,719,005
事務局出張費	0	405,708
通信連絡費	104,590	1,252,627
事務費	175,651	1,935,425
学会事務局委託費	615,600	6,828,600
法人運営費	1,516,708	3,209,811
ホームページ運営費	58,320	645,520
租税公課	0	201,480
支払手数料	28,728	#REF!
その他経費計	5,517,792	#REF!
経常費用計	5,517,792	#REF!
当期経常増減額	△ 5,517,792	#REF!

財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	53,508,962		
手許現金	0		
普通預金	4,010,172		
三菱UFJ銀行駒込支店 #0564895	813,728		
三菱UFJ銀行駒込支店 #4469651	2,568,555		
三菱UFJ銀行駒込支店 #0383061	627,889		
定期預金	27,500,000		
三菱UFJ銀行駒込支店 #0273362	27,500,000		
郵便振替	21,998,790		
ゆうちょ銀行 #00130-8-552710	21,998,790		
前払費用	300,000		
(一社)日本歯科専門医機構令和2年度会費	300,000		
特別事業引当特定資産	20,738,610		
定期預金	20,738,610		
三菱UFJ銀行駒込支店 #8784597	20,738,610		
会員テーク構築引当特定資産	10,739,849		
定期預金	10,739,849		
三菱UFJ銀行駒込支店 #1055328	10,739,849		
認定事業引当特定資産	15,379,117		
定期預金	15,379,117		
三菱UFJ銀行駒込支店 #0383061	15,379,117		
		100,666,538	
		0	
			100,666,538
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	189,000		
令和2年度年会費	189,000		
未払法人税等	145,400		
令和元年度確定法人税、住民税及び事業税	145,400		
		334,400	
2 固定負債			
長期前受金	9,000		
令和3年度年会費	9,000		
		9,000	
			343,400
			100,323,138
			正味財産

収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考	執行率
I 事業活動収支の部					
事業活動収入					
会費収入	41,255,000	39,037,000	2,218,000		94.6%
入会金収入	300,000	208,000	92,000		69.3%
正会員会費収入	39,105,000	36,979,000	2,126,000		94.6%
賛助会員会費収入	1,850,000	1,850,000	0		100.0%
事業収入	15,650,000	12,819,438	2,830,562		81.9%
論文掲載料収入	6,500,000	3,744,958	2,755,042		57.6%
広告掲載料収入	2,800,000	2,754,480	45,520		98.4%
認定事業収入	6,350,000	6,320,000	30,000		99.5%
補助金等収入	990,000	990,000	0		100.0%
日本歯科医学会助成金収入	990,000	990,000	0		100.0%
雑収入	1,003,000	621,313	381,687		61.9%
利息収入	0	6,850	△ 6,850		#DIV/0!
その他の雑収入	1,003,000	614,463	388,537		61.3%
事業活動収入計	58,898,000	53,467,751	5,430,249		90.8%
事業活動支出					
事業費支出	39,509,686	35,947,384	3,562,302		91.0%
学術大会事業費支出	5,000,000	5,000,000	0		100.0%
市民公開フォーラム開催費支出	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
会誌発行事業費支出	22,320,000	19,414,254	2,905,746		87.0%
関連団体経費支出	400,000	491,220	△ 91,220		122.8%
英文校閲費支出	500,000	295,608	204,392		59.1%
国際交流費支出	890,000	460,012	429,988		51.7%
特別事業費支出	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
会員データー構築事業費支出	170,898	170,898	0		100.0%
認定委員会事業費支出	5,462,088	5,437,732	24,356		99.6%
表彰費支出	970,000	862,960	107,040		89.0%
日歯学会分担金支出	150,000	150,000	0		100.0%
日歯学会連合会費支出	1,346,700	1,364,700	△ 18,000		101.3%
日本歯科専門医機構年会費支出	300,000	300,000	0		100.0%
管理費支出	19,306,000	18,854,512	451,488		97.7%
各種委員会費支出	7,200,000	6,700,810	499,190		93.1%
事務局出張費支出	500,000	405,708	94,292		81.1%
通信連絡費支出	1,100,000	1,148,037	△ 48,037		104.4%
事務費支出	1,900,000	1,759,774	140,226		92.6%
学会事務局委託費支出	6,156,000	6,213,000	△ 57,000		100.9%
法人運営費支出	1,850,000	1,693,103	156,897		91.5%
ホームページ運営費支出	600,000	587,200	12,800		97.9%
租税公課支出	0	145,400	△ 145,400		#DIV/0!
渉外費支出	0	201,480	△ 201,480		#DIV/0!
事業活動支出計	58,815,686	54,801,896	4,013,790		93.2%
事業活動収支差額	82,314	△ 1,334,145	1,416,459		-1620.8%
II 投資活動収支の部					
投資活動収入					
積立金取崩収入	1,500,000	1,500,000	0		100.0%
会員データー構築引当特定資産取崩収入	500,000	500,000	0		100.0%
特別事業引当特定資産取崩収入	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
投資活動収入計	1,500,000	1,500,000	0		100.0%
投資活動支出					
積立金繰入支出	1,500,000	1,500,000	0		100.0%
会員データー構築引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0		100.0%
特別事業引当特定資産繰入支出	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
投資活動支出計	1,500,000	1,500,000	0		100.0%
投資活動収支差額	0	0	0		
III 予備費支出	350,000		350,000		0.0%
当期収支差額	△ 267,686	△ 1,334,145	1,066,459		498.4%
前期繰越収支差額	101,657,283	101,657,283	0		100.0%
次期繰越収支差額	101,389,597	100,323,138	1,066,459		98.9%

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、前払費用、特別事業引当特定資産、会員データ構築引当特定資産、認定事業引当特定資産、前受金、未払法人税等及び長期前受金を含めている。

なお、次期繰越収支差額の内訳は2.に示すとおりである。

2 予備費の流用について

予備費のうち201,480円は、慶弔費に流用し、渉外費支出に含めている。

3 次期繰越収支差額の内訳

科目	前年度残高	当年度残高
現金預金	54,140,938	53,508,962
前払費用	300,000	300,000
特別事業引当特定資産	20,736,848	20,738,610
会員データ構築引当特定資産	10,409,861	10,739,849
認定事業引当特定資産	16,517,536	15,379,117
合計	102,105,183	100,666,538
前受金	295,000	189,000
未払法人税等	143,900	145,400
長期前受金	9,000	9,000
合計	447,900	343,400
次期繰越収支差額	101,657,283	100,323,138

収益事業活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科目	決算額
I 経常収益	
1 事業収入	564,043
雑収入	564,043
経常収益計	564,043
II 経常費用	
1 事業費	
各種委員会費	76,182
事務局出張費	4,612
通信連絡費	13,052
事務費	20,007
学会事務局委託費	70,636
法人運営費	19,249
ホームページ運営費	6,675
租税公課	0
経常費用計	210,413
非収益事業への振替額	208,230
税引前当期正味財産増減額	145,400
法人税、住民税及び事業税	145,400
当期正味財産増減額	0

収益事業貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	145,400		
流動資産合計		145,400	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			145,400
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	145,400		
流動負債合計		145,400	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			145,400
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			145,400

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
理 事 長 田上 順次 殿
財務担当常任理事 向井 義晴 殿

特定非営利活動法人日本歯科保存学会の 2019 年度の事業ならびに決算各項について監査を行った結果、その正確かつ適正なることを認めます。

2020 年 5 月 28 日

特定非営利活動法人日本歯科保存学会

監 事 榎 石 武 美

監 事 中 村 勝 文

2020年度特定非営利活動法人日本歯科保存学会事業計画（案）

1. 日本歯科保存学雑誌発行
Vol.63.No.2～Vol.64.No.1
2. 英文誌発行の企画・推進
3. 第152回春季学術大会および総会／第153回秋季学術大会開催
4. 2021年度学会賞・学術賞・奨励賞・優秀発表賞等の選考
5. 認定医・専門医試験の実施
6. 関連団体（日本歯科衛生士会等）との連携
認定歯科衛生士制度の実施
7. 大韓歯科保存学会および台湾牙體復形学会との学術交流、海外学会との
国際交流推進
8. 各種委員会活動
9. 学術委員会による学術大会における学会主導型プログラムの企画
10. 診療ガイドラインおよび教育ガイドラインの検討・作成
11. 会員数増加対策の具体的検討
12. 会員研修管理システム管理・運営
13. ホームページ管理・運営
14. 市民公開フォーラム開催（年2回）
15. NPO法人としての活動・対応
16. 「歯科保存治療専門医」のあり方についての検討
17. その他

2020年度予算案の概要

【本会計】

①2020年度予算案

<歳入の部>

- ・本年度会費は、前年度 2019 年度の納入率と同等の 83%で算出した。
- ・過年度会費は、前年度 2019 年度の未納者人数を基に算出。
- ・論文掲載料は、オンライン化に伴う投稿料の改定（減額）を反映した。
- ・認定歯科衛生士関連費については、10名からの申請料を計上。

<歳出の部>

- ・抄録印刷費・事務費・事務委託費・HP運営費・英文校閲費については消費税増税分を増額した。
- ・会誌印刷費は、63巻4号以降4号分がオンライン化となるため、その差額が減額された。
- ・会誌発送費は、紙媒体で発行する2号分のみを計上している。
- ・日本歯科専門医機構年会費は、前納制であるため2021年度年会費30万円を計上した。
- ・認定歯科衛生士関連費については、9月予定の審査会開催費として40万円・テキスト作成代50万円・会議費20万円を計上した。
- ・各種委員会費の内訳は以下の通り。

→常任理事会：今回の常任理事会がWEB開催としたため、今後の3回の開催分を計上。

→大会時理事会・委員会費：春季大会は現地開催中止としたため、秋季大会分のみ計上。

→編集委員会開催費(2回) 70万円

→医療合理化委員会 30万円

・ 歯科医学会連合平成29年度採択課題の英文チェック代・論文掲載料

→う蝕治療ガイドライン小委員会 40万円

・ 春季大会時の委員会は開催中止としたため、秋季大会分のみ計上。

→学会のあり方委員会 10万円

・ 学術大会時の託児書支援（秋季大会分） など

- ・国際交流費は、秋季大会併催の日韓歯科保存学会とトルコとの交流費も新たに計上した。
- ・市民公開フォーラムについては、新型コロナウイルス感染の状況より、学術委員会で今年度の開催は断念し、HPなどでの啓発の実施を鑑み、30万円を計上。
- ・予備費は、収支均等の範囲内で、145万円増額した。これは、日本歯科専門医機構の専門医制度の進捗が、どのようなスケジュールで進行するのかが見通せないため予備費で備えておくことの必要性があることや新型コロナウイルスによる不測の自体に備えるため。昨年度の決算額は、慶弔費の20万円程度なので、何もなければ同程度の執行になると見込まれる。

⇒小計の単年度収支は、594,900円のプラスとなっている。

- ・会員データ構築費積立金および特別事業費への資金移動については2019年度予算と同額とした。

②会員データ構築積立金

- ・カード作成（新入会分）を計上した。

③特別事業費

- ・152・153回学術大会の学会主導型プログラムおよび新型コロナウイルス感染症対応のため大会実施方法を変更し赤字が発生した場合に対応するため予備費を計上した。

【認定委員会会計】

①認定委員会 2020 年度予算案

<歳入の部>

- ・認定医/専門医/指導医ともに、新規申請は 2019 年度予算と同等とした。
- ・専門医および指導医の更新対象者が多いため、更新料はそれぞれ増額している。

<歳出の部>

- ・昨年度 3 月の認定医・専門医試験が中止となり、9 月の試験時に合わせて実施予定のため、試験運営費の会議費 30 万円増額した。
- ・更新対象が多いため、印刷費・消耗品費を消費税増税分も加味し、増額した。
- ・事務委託費は消費税増税分を増額した。
- ・認定委員会積立金への資金移動については、過去 3 年間の黒字決算を受け、100 万円を計上した。

⇒小計の単年度収支は、107,540 円のプラスとなっている。

②認定委員会積立金

- ・本会計より 100 万円の繰入。
- ・DNI の委託・管理・出張費を計上した。

特定非営利活動法人日本歯科保存学会2020年度予算(案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位円)

歳入	項目	2020年度予算	2019年度予算	差異	備考
歳入	前年度繰越金	30,882,283	33,541,324	△ 2,659,041	
	年会費	39,416,600	41,255,000	△ 1,838,400	
	(1)入会費	300,000	300,000	0	1,000円×300名
	(2)本年度会費	32,865,000	34,425,000	△ 1,557,000	9,000円×4,400名×0.83=32,868,000円
	(3)過年度会費	4,095,600	4,386,000	△ 281,400	111名(17、18、19未納者)×27,000円×0.2+168名(18、19未納者)×18,000円×0.3+360名(19未納者)×9,000円×0.8
	(4)次年度会費	300,000	300,000	0	年度未入会手続き者30名
	(5)賛助会費	1,850,000	1,850,000	0	30社 37口
	論文掲載料	3,750,000	6,500,000	△ 2,750,000	(印刷費の30%×0.96)+未収分
	広告掲載料	2,800,000	2,800,000	0	2019年度実績より(63/2~64/1、春季・秋季抄録号)
	認定歯科衛生士関連費	100,000	-	100,000	申請料 10名
日歯学会助成金	990,000	990,000	0	日本歯科医学会助成金(2019年度実績:990,000円)	
雑収入	700,000	1,000,000	△ 300,000	銀行利息・保険ジャパン・基金事務費、出版著作権複写料、学協会著作権複写料、その他	
小計		47,756,600	52,545,000	△ 4,788,400	
合計		78,638,883	86,086,324	△ 7,447,441	

歳出	項目	2020年度予算	2019年度予算	差異	備考
歳出	次年度春季学会費	2,500,000	2,500,000	0	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科(歯科保存学分野)
	次年度秋季学会費	2,500,000	2,500,000	0	新潟大学大学院医歯学総合研究科(歯学分野)
	会報抄録集印刷費	3,260,000	3,200,000	60,000	1,630,000円×2号分
	誌行会誌印刷費	12,240,000	16,000,000	△ 3,760,000	2,550,000円×2号分(63/2~3)=5,100,000円、1,785,000円×4号(63/4~64/1)=7,140,000円
	会誌発送費	1,075,000	3,120,000	△ 2,045,000	@125×4,300名×2号分(63/2~3)
	通信連絡費	1,300,000	1,100,000	200,000	会費請求(@110×6,500通)、切手・はがき代、市外通話料、FAX代、宅配代
	事務会分担金	1,950,000	1,900,000	50,000	ゆうメール封筒@13×25,000枚、封筒 70,000円、資料印刷 1,500,000円、その他
	日歯学会連合会費	150,000	150,000	0	2019年度実績
	日本歯科専門医研修年会費	1,364,700	1,346,700	18,000	2019年度実績
	認定衛生士関連費	300,000	300,000	0	2019年度実績
	各種委員出張費	5,500,000	7,200,000	△ 1,700,000	審査会開催費(1回)、テキスト作成代 等
	事務局出張費	80,000	500,000	△ 420,000	常任理事会(3回)200万円、大会幹事会 委員会議 110万円、編集委員会議(2回)70万円、各種委員会議(医療合理化委員会30万円、社保小委員会10万円、う歯治療GL小委員会40万円、学会のあり方委員会10万円、表彰委員会30万円) 他
	学会事務局委託費	6,270,000	6,156,000	114,000	522,500円(消費税込み)×12ヵ月
	英文校閲費	507,000	500,000	7,000	63/3~64/2の添削料 84,500円×6号分
	国際交流費	1,100,000	890,000	210,000	大韓歯科保存学会(75万円)・台湾牙體修復形学会(15万円)・トルコ歯科関連学会(20万円)他との交流費
	表彰費	1,000,000	970,000	30,000	学会賞・学術賞・奨励賞賞牌および副賞
	ホームページ運営費	615,000	600,000	15,000	ホームページ管理・更新費、ドメイン使用料
	市民公開フォーラム開催費	300,000	1,000,000	△ 700,000	
	関連団体経費	500,000	400,000	100,000	歯学協会費、歯保連会費、その他
	法人運営費	1,850,000	1,850,000	0	税金(法人住民税、法人事業税、国税)、税理士顧問料12ヶ月(396,000円)、法人事務委託費12ヶ月(660,000円)、顧問弁護士料12ヶ月(395,000円)
予備費	1,700,000	250,000	1,450,000	その他	
小計		47,161,700	52,432,700	△ 5,271,000	
積立金		500,000	500,000	0	
特別事業費		1,000,000	1,000,000	0	
次年度繰越金		29,977,183	32,153,624	△ 2,176,441	
合計		78,638,883	86,086,324	△ 7,447,441	

2020年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

会員データ構築積立金収支予算〈案〉

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	500,000		本年度支出	250,000	①
銀行利息	1,000				
前年度繰越金	10,739,849		次年度繰越金	10,990,849	
合計	11,240,849		合計	11,240,849	

①バーコード付きカード作製費:250,000円(350枚作製代および250枚発送代)

2020年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

特別事業費収支予算〈案〉

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
本部会計より	1,000,000		本年度支出	3,000,000	①②③
銀行利息	2,000				
前年度繰越金	20,738,610		次年度繰越金	18,740,610	
合計	21,740,610		合計	21,740,610	

- ①第152回春季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円
 ②第153回秋季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円
 ③新型コロナウイルス感染症による大会実施方法変更に関する予備費 2,000,000円

特定非営利活動法人日本歯科保存学会認定委員会2020年度予算(案)
(2020年4月1日～2021年3月31日)

単位:円

項目	2020年度予算	2019年度予算	差異	備考
前年度繰越金	22,626,679	20,599,614	2,027,065	
認定医申請料	700,000	700,000	0	10,000×70人(第16回,第17回)
認定医審査料	1,400,000	1,400,000	0	20,000×70人(第16回,第17回)
認定医登録料	700,000	650,000	50,000	10,000×70人(第15回,第16回)
専門医申請料	100,000	100,000	0	10,000×10人(第58回,第59回)
専門医審査料	300,000	300,000	0	30,000×10人(第58回,第59回)
専門医登録料	100,000	60,000	40,000	10,000×10人(第57回,第58回)
指導医申請料	100,000	100,000	0	10,000×10人
指導医審査料	300,000	300,000	0	30,000×10人
指導医登録料	100,000	100,000	0	10,000×10人
認定医更新料	670,000	660,000	10,000	10,000×67名(第6回・第7回:専門医取得者は除く) 10,000×199人
専門医更新料	1,990,000	1,570,000	420,000	(第1-0回:4人,第9回:26人,第10回:40人,第11回:12人,第20回:24人,第21回:23人,第30回:31人,第39回:3人,第40回:3人, 第49回:30人,第50回:3人が更新予定)
指導医更新料	660,000	410,000	250,000	10,000×66人(更新対象者69名のうち3名は免除)
雑収入	3,000	3,000	0	銀行利息
小計	7,123,000	6,353,000	770,000	
合計	29,749,679	26,952,614	2,797,065	

項目	2020年度予算	2019年度予算	差異	備考
会議費	1,800,000	1,500,000	300,000	委員会費、試験運営費
研修会費	500,000	500,000	0	第152回、第153回大会時
事務印刷費	1,300,000	1,200,000	100,000	申請書、認定証、研修記録簿、資料作成費、新認定証作成費
事務消耗品費	80,000	60,000	20,000	文具代
通信費	400,000	400,000	0	振込料、TEL・FAX代、切手・宅配便代、認定証発送代
事務委託費	1,835,460	1,802,088	33,372	152,955円×12ヶ月分(消費税含む)
認定委員会積立金	1,000,000	0	1,000,000	
予備費	100,000	100,000	0	
小計	7,015,460	5,562,088	1,453,372	
次年度繰越金	22,734,219	21,390,526	1,343,693	三菱UFJ銀行(普)、郵便振替
合計	29,749,679	26,952,614	2,797,065	

2020年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

認定委員会積立金収支予算(案)

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
認定委員会会計より	1,000,000	本年度積立金分	本年度支出	1,050,000	①
銀行利息	2,000				
前年度繰越金	16,517,536		次年度繰越金	16,469,536	
合計	17,519,536		合計	17,519,536	

<支出内訳>

①DNI研修単位管理システム業務委託費・年間保守管理費・出張費:1,050,000円